



Cisco Content Services Switch スタートアップガイド

Software Version 8.10
November 2005

Text Part Number: OL-7992-01-J



このマニュアルに記載されている製品に関する仕様および情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。製品の使用に関しては、ユーザが全面的にその責任を負うものであります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された「Information Packet」に記載されています。ソフトウェア ライセンスまたは限定保証書が見当たらない場合は、製品をお買い上げの販売代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリックドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、不備も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコ、および上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Access Registrar, Aironet, ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルや Web サイトで言及されたその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語は、シスコとその販売代理店が合資関係にあることを示すものではありません。(0502R)

Cisco Content Services Switch スタートアップガイド

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



このマニュアルについて	ix
対象読者	x
構成	xi
関連資料	xii
記号と表記法	xvi
技術情報の入手方法	xvii
Web サイト	xvii
Product Documentation DVD	xvii
マニュアルの発注方法	xviii
シスコ製品のセキュリティの概要	xviii
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	xviii
テクニカル サポート	xix
Japan TAC Web サイト	xix
その他の資料および情報の入手方法	xx

CHAPTER 1

ブート、ログイン、および起動	1-1
ブートとログインのクイック スタート	1-2
CSS の初回ブート	1-3
ソフトウェア ライセンス キーの入力	1-3
イーサネット管理ポートの設定	1-4
デフォルトのユーザ名とパスワードの変更	1-6
Offline DM メニューの保護パスワード	1-7

初回以降の CSS のブート	1-8
CSS へのログイン	1-11
設定スクリプトの使用	1-12
レイヤ 3 ロード バランシングの設定	1-15
レイヤ 5 ロード バランシングの設定	1-17
プロキシ キャッシュの設定	1-20
透過キャッシュの設定	1-22
CSS のリブート	1-26
CSS のシャット ダウン	1-27
以降の内容について	1-28

CHAPTER 2

CSS の基本事項の設定 2-1

初期設定のクイック スタート	2-2
管理者のユーザ名とパスワードの変更	2-5
ユーザ名とパスワードの作成	2-6
イーサネット管理ポートの設定	2-10
イーサネット管理ポートの IP アドレスとサブネット マスク の設定	2-12
イーサネット管理ポートのスタティック ルートの設定	2-13
イーサネット管理ポート用デフォルト ゲートウェイの設定	2-14
イーサネット管理ポートの ICMP リダイレクトの廃棄	2-15
イーサネット管理ポートの遮断	2-16
IP ルートの設定	2-17
日付、時刻、および時間帯の設定	2-19
日付の設定	2-19

欧州形式の日付の設定	2-19
時刻の設定	2-20
時間帯の設定	2-20
夏時間の設定	2-22
毎年発生する DST の設定	2-23
単年限りの DST 設定	2-24
CSS での DST の無効化	2-24
日付と時刻の表示	2-25
CSS と SNTP サーバの同期	2-27
プライマリまたはセカンダリ SNTP サーバの設定	2-28
SNTP サーバのポーリング間隔の設定	2-29
SNTP 設定情報の表示	2-30
ホスト名の設定	2-31
以降の内容について	2-32

CHAPTER 3

ドメイン ネーム サービスの設定	3-1
プライマリ DNS サーバの指定	3-2
DNS 解決の使用	3-2
セカンダリ DNS サーバの指定	3-3
DNS サフィックスの指定	3-3
DNS サーバ ポートでの UDP トラフィックの指定	3-4
以降の内容について	3-4

CHAPTER 4

スティッキ クッキーの設定	4-1
スティッキの概要	4-2
クッキーによる高度なロード バランシング	4-3

HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づくスティッキ	4-4
URL 内のクッキーに基づくスティッキ	4-6
HTTP ヘッダーまたは URL 内のクッキーに基づくスティッキ	4-7
以降の内容について	4-8

CHAPTER 5

CSS への CiscoView Device Manager のインストール 5-1

CSS への CVDM のインストール	5-3
インストール スクリプトによる CVDM のインストール	5-4
CLI コマンドによる CVDM のインストール	5-7
CVDM のインストールの確認	5-8
CSS からの CVDM の削除	5-8
CSS の CVDM へのアクセス有効化	5-9
CSS の CVDM へのアクセス	5-11
以降の内容について	5-12

CHAPTER 6

管理および設定作業と参照マニュアル 6-1

CSS の作業と参照先のリスト	6-2
CSS マニュアルの詳細リスト	6-25
Cisco Content Services Switch Administration Guide	6-26
Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide	6-30
Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide	6-34
Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide	6-40

Cisco Content Services Switch Redundancy Configuration Guide 6-42

Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide 6-43

Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide 6-45

APPENDIX A**ブートプロセスのトラブルシューティング A-1**

ハードウェアの診断テストとエラーメッセージ A-2

ブート設定レコードとディスクの Offline DM 確認 A-6

CSS 11501 のブートと確認 A-7

CSS 11503 および CSS 11506 のブートとモジュールの確認 A-8

INDEX**索引**



このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cisco 11500 シリーズの Content Services Switch (CSS; コンテント サービス スイッチ) の基本的な管理手順について説明します。CSS へのログインなど、CSS の使用を開始するための各種作業の実行方法を説明しています。CSS ソフトウェアの管理とアップグレードの方法については、『*Cisco Content Services Switch Administration Guide*』を参照してください。このマニュアルの情報は、特に指示がない限り、CSS の全モデルに共通です。

CSS ソフトウェアには、標準機能セットまたはオプションの拡張機能セットが用意されています。拡張機能セットには、標準機能セットに加え、Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換)ピアリング、Domain Name Service (DNS; ドメイン ネーム サービス)、オンデマンド コンテンツ レプリケーション (ダイナミック ホット コンテンツ オーバーフロー)、コンテンツのステー징およびレプリケーション、ネットワーク プロキシミティ DNS の各機能が備えられています。プロキシミティ データベースおよびセキュア管理はオプションの機能です。セキュア管理には、Secure Shell Host (SSH) および強度の高い Secure Socket Layer (SSL) 暗号化の機能が含まれます。

ここでの主な内容は次のとおりです。

- [対象読者](#)
- [構成](#)
- [関連資料](#)
- [記号と表記法](#)
- [技術情報の入手方法](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要](#)

- [テクニカル サポート](#)
- [その他の資料および情報の入手方法](#)

対象読者

このマニュアルは、次のような、十分な経験とスキルを持つ CSS の設定担当者を対象としています。

- Web マスター
- システム管理者
- システム オペレータ

構成

このマニュアルの構成は次のとおりです。

章	内容
第 1 章「ブート、ログイン、および起動」	CSS に初めて電源を入れてブートする手順、ログインする手順、および日常業務でのブート手順を説明しています。
第 2 章「CSS の基本事項の設定」	ユーザ名とパスワード、イーサネット管理ポート、スタティック IP ルート、および夏時間と SNTP を含む日付時刻の設定方法を説明しています。
第 3 章「ドメイン ネーム サービスの設定」	ホスト名を解決する Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) の設定方法を説明しています。
第 4 章「スティッキ クッキーの設定」	CSS スティッキの概要と、スティッキ クッキーの設定例を示します。
第 5 章「CSS への CiscoView Device Manager のインストール」	CSS の設定に使用するブラウザベースのユーザ インターフェイス CSS Cisco View Device Manager (CVDM) のインストールについて説明しています。
第 6 章「管理および設定作業と参照マニュアル」	管理作業と設定作業に役立つ CSS のマニュアルと、その内容についての情報を示します。
付録 A「ブート プロセスのトラブルシューティング」	Cisco CSS 11500 シリーズのブート プロセスのトラブルシューティングについて説明しています。

関連資料

このマニュアルの他に、CSS には次の関連マニュアルがあります。

マニュアル名	内容
<i>Release Note for the Cisco 11500 Series Content Services Switch</i>	Cisco CSS 11500 シリーズに関する運用上の考慮事項、注意事項、および Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドについて説明しています。
<i>Cisco 11500 Series Content Services Switch Hardware Installation Guide</i>	CSS 11500 シリーズの設置、ケーブル接続、および電源投入について説明しています。また、CSS の仕様、ケーブルのピン配置、ハードウェアのトラブルシューティングについても説明しています。
<i>Cisco Content Services Switch Administration Guide</i>	CSS ソフトウェアのアップグレードや次に示す項目の設定など、CSS での管理作業の実行方法について説明しています。 <ul style="list-style-type: none"> • ログ メッセージの表示と sys.log メッセージの意味などのログ機能 • ユーザ プロファイルおよび CSS パラメータ • SNMP • RMON • XML 文書による CSS の設定 • CSS スクリプト言語 • Offline Diagnostic Monitor (Offline DM) メニュー

マニュアル名	内容
<i>Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide</i>	<p>次に示す項目の設定など、CSS のルーティングおよびブリッジングの設定作業について説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 管理用のポート、インターフェイス、および回線• スパニングツリー ブリッジ• Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル)• Routing Information Protocol (RIP; ルーティング情報プロトコル)• Internet Protocol(IP; インターネット プロトコル)• Open Shortest Path First (OSPF) プロトコル• Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル)• Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーションプロトコル) リレー エージェント

マニュアル名	内容
<p><i>Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide</i></p>	<p>次に示す項目の設定など、CSS のコンテンツ ロード バランシングの設定作業について説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フロー マッピングおよびポート マッピング • サービス • サービス、グローバル、スクリプト キープアライブ • ソース グループ • サービスの負荷 • Server/Application State Protocol (SASP) • Dynamic Feedback Protocol (DFP) • 所有者 • コンテンツ ルール • スティック パラメータ • HTTP ヘッダー ロード バランシング • コンテンツ キャッシング • コンテンツ レプリケーション
<p><i>Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide</i></p>	<p>次に示す項目の設定など、CSS のグローバル ロード バランシングの設定作業について説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Domain Name Service (DNS; ドメイン ネーム サービス) • DNS スティック • コンテンツ ルーティング エージェント • クライアント側アクセラレータ • ネットワーク プロキシミティ

マニュアル名	内容
<i>Cisco Content Services Switch Redundancy Configuration Guide</i>	次に示す項目の設定など、CSS の冗長化設定作業について説明しています。 <ul style="list-style-type: none">• VIP および仮想インターフェイスの冗長性• 適応型セッションの冗長性• ボックスツーボックス冗長性
<i>Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide</i>	次に示す項目の設定など、CSS のセキュリティの設定作業について説明しています。 <ul style="list-style-type: none">• CSS へのアクセスの制御• Secure Shell Daemon (SSHD; セキュア シェル デーモン) プロトコル• Radius• TACACS+• ファイアウォール ロード バランシング
<i>Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide</i>	次に示す項目の設定など、CSS の SSL 設定作業について説明しています。 <ul style="list-style-type: none">• SSL 証明書およびキー• SSL 終了• バックエンド SSL• SSL 開始• HTTP データ圧縮
<i>Cisco Content Services Switch Command Reference</i>	すべての CLI コマンドをアルファベット順に示し、シンタックス、オプションおよび関連コマンドも含めて説明しています。

記号と表記法

このマニュアルでは、次の記号と表記法を使用して、記載情報の種類を示しています。



注意

注意が必要であることを示します。装置の故障またはデータの損失につながる可能性があるため、慎重に作業してください。



警告

危険を表します。負傷または装置が故障する危険がありますので、慎重に作業してください。



(注)

注釈です。重要な関連情報や、注意事項、推奨事項を示します。

文章中のコマンドは、**ボールド体**で表します。

CLI プロンプトも含めてコマンドラインに表示される文字は、`courier` フォントで表します。

コマンドラインに入力するコマンドや文字は、**ボールド体 courier** フォントで表します。

新しい用語、マニュアル名、強調する内容、およびユーザが値を指定する変数は、*イタリック体*で表します。

1. 番号付き項目のリストは、その順序に意味があることを表します。
 - a. アルファベット順の 2 次項目のリストは、その順序に意味があることを表します。
- ドット付きのトピックのリストは、その順序に意味がないことを表します。
 - 字下げされたサブトピックのリストは、その順序に意味がないことを表します。

技術情報の入手方法

シスコのマニュアルとその他の資料、テクニカル サポート、およびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Web サイト

日本語のマニュアルは、次の Web サイトで入手できます。

<http://www.cisco.com/jp/>

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手できます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

各国のシスコ Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、ポータブルなメディアに収録された、テクニカル マニュアルの総合ライブラリです。この DVD では、シスコ製品のさまざまなバージョンのハードウェアおよびソフトウェアのインストール ガイド、コンフィギュレーション ガイド、およびコマンド ガイドを利用できます。また、テクニカル マニュアルを HTML で表示することもできます。この DVD を使用すると、インターネットに接続しなくても、シスコの Web サイトに掲載されているマニュアルと同じマニュアルを利用できます。一部の製品では、PDF 版のマニュアルも利用できます。

この Product Documentation DVD は、単体でも定期契約でもご利用いただけます。

マニュアルの発注方法

日本語のマニュアルは、次の Web サイトでご注文いただけます。

<http://www.cisco.com/jp/>

シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、無料のオンライン Security Vulnerability Policy (セキュリティの脆弱性のポリシー) ポータルサイトを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコは、信頼性の高い製品をお届けするように最大の努力を払っています。製品のリリース前には内部で製品をテストし、すべての脆弱性をすばやく解決するように努めています。シスコ製品に脆弱性があると考えられる場合には、製品をお買い上げの弊社販売代理店にお問い合わせください。

テクニカル サポート

テクニカル サポートについては、製品をお買い上げの弊社販売代理店にお問い合わせください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの本、リファレンス ガイド、マニュアルおよびロゴ入り商品を提供しています。シスコ直営の Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、および資格関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで役立つ、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、インターネット投資およびネットワーク投資を最大限に活用することを目的とした、シスコシステムズのユーザ向け技術誌です。『Packet』は季刊誌で、最新の業界トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品およびソリューション、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定とトレーニングに関する情報、およびさまざまな充実したオンライン サービスへのリンクなどの情報が記載されています。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

- 『iQ Magazine』はシスコが発行する季刊誌で、成長企業向けに、テクノロジーを利用して収益の増加、業務の円滑化、サービスの拡張を図る方法を紹介しています。この雑誌では、実際の事例とビジネス戦略を使用してこれらの企業が直面している課題とその解決に役立つテクノロジーを明確にし、読者の皆様がテクノロジーへの投資に関して適切な意思決定を下せるように支援します。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

または、次の URL からデジタル版にアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、およびカスタマー サポート サービスには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワークのプロがネットワーク製品およびテクノロジーに関する質問や提案、および情報をシスコの専門技術者および他のネットワークのプロと交換する Web サイトです。意見交換には、次の URL から参加できます。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。

日本におけるトレーニングに関する情報は次の Web サイトで入手できます。

<http://www.cisco.com/jp/>



ブート、ログイン、および起動

この章では、初回とそれ以降の CSS のブート方法、およびログイン方法について説明します。また設定スクリプトの使用方法についても説明します。このスクリプトは、CSS へのログイン時に既存の起動設定ファイルが検出されない場合に自動起動されます。この章の内容は、特に指示のない限り、すべての CSS モデルに適用されます。

この章の主な内容は次のとおりです。

- [ブートとログインのクイック スタート](#)
- [初回以降の CSS のブート](#)
- [CSS へのログイン](#)
- [設定スクリプトの使用](#)
- [CSS のリブート](#)
- [CSS のシャットダウン](#)

ブートとログインのクイック スタート

表 1-1 に、CSS のブートとログインを簡単に行うための設定手順を示します。各手順の詳細については、表 1-1 以降の項を参照してください。

表 1-1 ブートとログインのクイック スタート

作業とコマンドの例

1. CSS を初めてブートする場合は、ハードウェアの初期化とパワーオン診断が実行され、次の操作を行うようにプロンプトが表示されます。
 - イーサネット管理ポートの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの設定
 - デフォルトの管理者用ログイン名 (`admin`) とパスワード (`system`) の変更
 - パスワードによる **Offline Diagnostic Monitor (Offline DM)** メニューの保護
 2. 日常業務で CSS の電源を投入する場合は、ブート プロセスにより次の処理が行われます。
 - ソフトウェア バージョンとビルド番号の表示
 - ハードウェアの初期化と電源投入時自己診断テストの実行
 - **Offline DM** メニューにアクセスするプロンプトの表示
 - CSS へのログイン プロンプトの表示
 3. 管理者のデフォルトのユーザ名 (`admin`) とパスワード (`system`) または指定したユーザ名とパスワードを使用して CSS にログインします。
 4. ユーザが CSS にログインしたときに起動設定 (`startup-config`) ファイルが検出されないと、設定スクリプトが自動的に起動します。設定スクリプトの実行時は、次の情報の入力が必要になります。
 - 回線 VLAN1 の IP アドレスとサブネット マスク (インターフェイスはすべて、デフォルトで VLAN1 に割り当てられています)
 - デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
 - サーバの IP アドレス
 - コンテンツ ルールの Virtual IP address (VIP; 仮想 IP アドレス)
-
- 詳細については、「[設定スクリプトの使用](#)」を参照してください。
-

CSS の初回ブート

起動の際、CSS は最初に次のように動作します。

- ハードウェアの初期化とパワーオン診断(「[初回以降の CSS のブート](#)」参照)。
- 次の設定の要求
 - イーサネット管理ポートの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの設定。イーサネット管理ポートは CSS の設定とイーサネット管理専用であり、トラフィックのルーティングは行いません。
 - デフォルトの管理者用ログイン名 (`admin`) とパスワード (`system`) の変更
 - パスワードによる **Offline Diagnostic Monitor (Offline DM)** メニューの保護

次の手順について説明します。

- [ソフトウェア ライセンス キーの入力](#)
- [イーサネット管理ポートの設定](#)
- [デフォルトのユーザ名とパスワードの変更](#)
- [Offline DM メニューの保護パスワード](#)

ソフトウェア ライセンス キーの入力

CSS によるハードウェアの初期化とパワーオン診断が終了すると、ライセンス許諾書への同意を求めるプロンプトが表示されます。ライセンス許諾書に同意しない場合は、CSS にログインできません。

最初に CSS を発注した際に、拡張機能セット、セキュア管理オプション (Secure Shell Host (SSH; セキュア シェル ホスト) と SSL 高度暗号化機能を含む) または、プロキシミティ データベース ソフトウェア オプションを購入している場合は、アクセサリ キットの中にソフトウェア権利証明書があります。権利証明書に記載の手順に従って、シスコからその他のソフトウェア機能のライセンスキーを取得します。

ソフトウェア ライセンス キーを取得したら、**license** コマンドでライセンス キーを入力します。プロンプトでライセンス キーを入力します。拡張機能セットのライセンス キーをインストールするには、次の操作を行います。

1. CSS にログインして、**license** コマンドを実行します。

```
# license
```

2. 12 桁の拡張機能セットソフトウェア ライセンス キーを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Enter the Software License Key (q to quit): nnnnnnnnnnnn
```

拡張機能セット ライセンス キーは適切にインストールされ、機能セットがアクティブになります。



(注)

プロキシミティ データベース ソフトウェア オプションのソフトウェア ライセンス キーを入力した後は、CSS をリポートしないとライセンス キーが有効になりません。

イーサネット管理ポートの設定

ブート プロンプトで有効なライセンス キーを入力すると、次のメッセージとプロンプトが表示されます。

```
Use the Ethernet management port IP address to access the Content Services Switch for configuration and management only. This port does not route traffic and is not associated with VLAN circuits.
```

```
The current address setting (0.0.0.0) disables the Ethernet Management port.
```

```
Do you wish to configure a valid address for the Ethernet management port [y/n]?
```

次のいずれかを入力します。

- イーサネット管理ポートの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを設定する場合は、**y** を入力します。この場合、次のように、IP アドレスの入力、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの入力が求められます。有効な IP アドレスを入力してください。有効な IP アドレスを入力するまで、プロンプトが表示されます。

```
Enter IP Address [0.0.0.0]:  
Enter Subnet Mask [0.0.0.0]:  
Enter Default Gateway [0.0.0.0]:
```



(注) イーサネット管理ポートの IP アドレスは、他の CSS VLAN 回線のサブネットと異なるサブネットの IP アドレスにする必要があります。このポートの IP アドレスが一意でない場合、ポートにアクセスできません。

- デフォルトの IP アドレス (0.0.0.0)、サブネット マスク (0.0.0.0)、およびゲートウェイ (0.0.0.0) をそのまま使用し、ポートを無効にする場合は、**n** を入力します。この場合、IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイの入力は求められません。

イーサネット管理ポートのデフォルト IP アドレス 0.0.0.0 では、管理ポートは無効になります。イーサネット管理ポートを有効にするには、ブート モードで **ip address** コマンドを指定する (第 2 章「CSS の基本事項の設定」参照) か、**Offline DM** メニューを使用します (『Cisco Content Services Switch Administration Guide』参照)。

デフォルトのユーザ名とパスワードの変更

次のメッセージが表示され、ここでデフォルトのユーザ名とパスワードを変更することができます。CSS への不正なログインを防止するために、ユーザ名とパスワードを変更することをお勧めします。

```
Access to this device is allowed using the default username and
password. For enhanced security we recommend that you change the
defaults. Do you want to change the defaults now (yes,no):
```

次のいずれかを入力します。

- ユーザ名とパスワードを変更する場合は、**yes** を入力します。次のように、ユーザ名とパスワードの入力、およびパスワードの確認を求められます。

```
Enter <administrator> username:
Enter <administrator> password:
Confirm <administrator> password:
```

- デフォルトのユーザ名とパスワードを保持する場合は、**no** を入力します。

CLI からデフォルトのユーザ名とパスワードを変更する場合は、[第2章「CSS の基本事項の設定」](#)を参照してください。

Offline DM メニューの保護パスワード

次のように、Offline DM メニューをパスワードで保護するように求められます。

```
Set Password Protection for Offline Diagnostic Monitor menu (yes,no)
```



注意

Offline DM メニューをパスワード保護する場合には注意が必要です。必ず新しいパスワードを記録してください。設定したパスワードは、いったん紛失すると復元できないため、Offline DM のメイン メニューにアクセスできなくなります。この場合は、製品をお買い上げの弊社販売代理店にお問い合わせください。

次のいずれかを入力します。

- Offline DM メニューをパスワードで保護する場合は、**yes** を入力します。Offline DM メニューをパスワードで保護すると、Offline DM メニューにアクセスするたびに管理者用のユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

```
The administrative username and password are required to access  
the Offline Diagnostic Monitor menu.  
Initializing the disk.....OK
```

Offline DM メニューの各オプションについては、『*Cisco Content Services Switch Administration Guide*』を参照してください。

- Offline DM メニューをパスワードで保護しない場合は、**no** を入力します。

次のように、Offline DM メニューへのアクセスを求められます。

```
Would you like to access the Offline Diagnostic Monitor? (Y <cr>)
```

y を入力すると、Offline DM メニューにアクセスできます。このメッセージが表示された後、Offline DM メニューにアクセスしたくない場合は、CSS がブートするのを待ちます。

初回以降の CSS のブート

CSS の電源を投入すると、ブート プロセスにより次の処理が行われます。

- ソフトウェア バージョンとビルド番号の表示
- ハードウェアの初期化と電源投入時自己診断テストの実行
- **Offline DM** メニューにアクセスするプロンプトの表示
- CSS へのログイン プロンプトの表示

ブート プロセスに要する時間は、CSS の起動設定、およびシャーシ内のモジュール数 (CSS 11503 と CSS 11506 の場合) によって異なります。

CSS をブートすると、ハードウェアの初期化と電源投入時自己診断テストが行われます。次のメッセージ (CSS 11503 と CSS 11506 について示す) が表示されます。

```
Locked boot flash.  
Validating operational boot flash, please wait...  
Operational boot flash valid. Jumping to operational boot flash.  
Copyright 2002(c), Cisco Systems, Inc.
```

```
Operational boot flash.  
Attaching interrupt handlers...Done.  
Master SCM.  
Built Jun 22 2002 @ 15:14:20  
Version x.xx Build xx
```



(注) CSS がブートを始めると (約 15 秒) **Offline DM** メニューにアクセスできるようになります。**Offline DM Main Menu** 画面では、ブートの設定と設定の表示、高度なオプションの選択、またはシステムのリブートを行うことができます。**Offline DM** メニューの使用の詳細については、『*Cisco Content Services Switch Administration Guide*』を参照してください。

次にハードウェアが一連の電源投入時自己診断テストを行います。表示されるアスタリスクは各テストが完了したことを示します。

```
Press <ESC> to enter the Diagnostic Monitor
* * * * *
Ran 1 times, x tests. Detected 0 errors.
```

電源投入時自己診断テストの際は、ステータス LED が点滅し、ブートプロセスの段階に合わせて色が変化します。左側のステータス LED は、緑と赤の二色式です。右側のステータス LED は橙色です。

CSS 11501 のイーサネット コネクタ、および CSS 11503 または CSS 11506 の 8 ポートと 16 ポートのファーストイーサネット モジュールには、ステータス LED は付いていません。各イーサネット コネクタには Link LED と Duplex LED があり、接続の状態が表示されます。

表 1-2 に、ブートの状態とステータス LED の点滅パターンを示します。

表 1-2 ステータス LED のブート定義

状態の変化の流れ		LED の色	LED の状態
1.	CSS の電源投入、フラッシュのスキャン、および電源投入時自己診断テスト実行	橙	すばやく点滅
	CSS の電源投入と自己診断テストでの障害の検出	赤	点灯
2.	CSS 11501 (CSS11503 または CSS11506 の場合は内部のモジュール) がオンラインでアクティブ	橙	ゆっくり点滅
3.	CSS 11501 (あるいは CSS 11503 または CSS 11506 のモジュール) がオンラインで非アクティブ	橙	点灯
	CSS 11506 では、パッシブ SCM の LED はこの状態のままでは色は変わらない。		

表 1-2 ステータス LED のブート定義 (続き)

状態の変化の流れ	LED の色	LED の状態
4. CSS 11501、あるいは CSS 11503 または CSS 11506 のモジュールがオンラインでアクティブ	緑	点灯
CSS 11501、あるいは CSS 11503 または CSS 11506 のモジュール(ファーストイーサネットモジュールは除く)で障害が発生 CSS 11503 または 11506 の場合 <ul style="list-style-type: none"> ファーストイーサネットモジュールで障害が発生した場合、Link と Duplex LED がすべて同時に点滅する。 スロット 1 のマスター SCM がモジュールの障害を検出し、そのステータス LED が緑色になりゆっくり点滅する。 スロット 1 のマスター SCM で障害が発生し、スロット 2 にパッシブ SCM がない限り、CSS はブートしない。 	赤	点滅
5. ディスク アクティビティ	緑	不規則に点滅

電源投入時自己診断テスト中にエラーが発生した場合は、コンソールにエラーメッセージが表示され、エラー検出力カウンターの値が増え、電源投入時自己診断テストがすべて完了するまで順次テストが続けられます。ブート時のエラーとメッセージの詳細については、[付録 A「ブートプロセスのトラブルシューティング」](#)を参照してください。

CSS へのログイン

ブートプロセスが完了すると、ログイン バナー、著作権、およびログイン プロンプトが表示されます。

起動設定ファイルが存在する場合は、`Press CTRL-C to abort running the startup-config` というメッセージが表示されます。



(注)

既存の起動設定ファイルが見つからない場合は、自動的に設定スクリプトが実行されます(「[設定スクリプトの使用](#)」参照)。設定スクリプトにより、設定情報の入力が求められます。次のログインから、設定スクリプトは実行されません。

起動設定の実行を中断すると、CSS は既存の起動設定を使用しません。起動設定ファイルの使用を中止すると、CSS にログインして再設定を行い、新しい実行設定ファイルを作成できます。起動設定ファイルの設定を誤ったために、CSS を使用できない状態になった場合は、この機能を使用してください。

ログインする場所に応じて、次のようにログインします。

- コンソールでログインすると、`Press any key to log in.` というメッセージが表示されます。
- Telnet セッションでログインすると、上記のメッセージは表示されません。

次のように、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

```
User Access Verification
```

```
Username:
```

```
Password
```

CSS のブート後にコンソールを CSS に接続した場合は、画面に何も表示されません。Enter キーを押して、ユーザ名とパスワードの入力プロンプトを表示します。

最初に CSS にログインするには、デフォルトのユーザ名 (`admin`) とパスワード (`system`) を小文字で入力するか、または、ブート時に設定した管理者のユーザ名とパスワードを入力します。機密保護のため、入力したパスワードは表示されません。デフォルトのユーザ名 (`admin`) を使用すると、SuperUser ステータスでログインできます。

■ 設定スクリプトの使用

デフォルトの管理ユーザ名とパスワードを変更していない場合は、不正なログインから CSS を守るために変更することをお勧めします。CLI からデフォルトのユーザ名とパスワードを変更する場合は、[第2章「CSSの基本事項の設定」](#)を参照してください。

設定スクリプトの使用

ユーザが CSS にログインしたときに起動設定 (startup-config) ファイルが検出されないと、設定スクリプトが自動的に起動します。設定スクリプトの実行時は、次の情報の入力が必要です。

- 回線 VLAN1 の IP アドレスとサブネット マスク (インターフェイスはすべて、デフォルトで VLAN1 に割り当てられています)
- デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
- サーバの IP アドレス
- コンテンツ ルールの VIP アドレス

設定スクリプトにより、エントリに基づいてサービス、所有者、コンテンツ ルールを作成できます。サービス、所有者、およびコンテンツ ルールの設定に関する基本情報については、『*Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください。

スクリプトのデフォルト値を使用するには、設定スクリプトに表示される各プロンプトで **Enter** キーを押します。スクリプトを終了するには、いずれかのプロンプトで **q** キーを押します。スクリプトの実行を中止する場合は、[第2章「CSSの基本事項の設定」](#)に進んで CSS の初期設定を続けることができます。CSS でスティッキ クッキーを設定する方法については、[第4章「スティッキ クッキーの設定」](#)を参照してください。



(注) `script play setup` コマンドを入力すると、設定スクリプトを手動で起動することもできます。

既存の実行設定 (running-config) ファイルを消去するには、スーパーユーザ モードで **clear running-config** コマンドを使用します。既存の起動設定 (startup-config) ファイルを消去するには、スーパーユーザ モードで **clear startup-config** コマンドを使用します。

次の例は、設定スクリプトです。次のように表記されています。

- **ボールド体** は、ユーザの入力例を示します。
- スクリプトを使用する上で役立つように説明を加えています。

```
#####
#Setup Script for the Content Services Switch#
#####

Checking for Existing Config...

No startup-config was found, continue with the setup script [y/n]? y

Note: Pressing "q" after any prompt quits setup. Pressing <CR> after
any [y/n] defaults to "y".

Warning: All circuit VLAN IP addresses must be on a different subnet
than the Ethernet Mgt port IP address. The existing Ethernet Mgt port
IP address is: 10.0.4.251

Add an IP address to VLAN1: [default = 192.168.10.1] 192.168.3.6

Add an IP subnet mask to VLAN1: [default = 255.255.255.0]

Warning: The default gateway IP address must be on the same subnet as
VLAN1. VLAN1 IP address is: 192.168.3.6

Add IP address for default gateway: [default = 192.168.3.2]
192.168.3.3

Pinging the default gateway: 100% Success.

Which feature do you want to configure?

[1] Layer3 load balancing
[2] Layer5 load balancing
[3] Proxy cache
[4] Transparent cache
[5] Exit script
```

表 1-3 は Configuration Script の各メニュー項目の説明です。

表 1-3 Configuration Script メニューのオプション

メニュー オプション	機能
Layer3 Load Balancing	レイヤ 3 ロード バランシングを設定することにより、CSS は仮想 IP アドレス (VIP) を使用し、IP アドレスに基づいて Web サーバ間で Web トラフィックの負荷を分散できます。
Layer5 Load Balancing	レイヤ 5 を設定することにより、CSS は VIP アドレスを使用し、URL に基づいて Web サーバ間で Web トラフィックの負荷を分散できます。
Proxy Cache	プロキシ キャッシュを設定することにより、CSS は VIP アドレスを使用し、ドメイン名に基づいてプロキシ キャッシュ サーバ間で Web トラフィックの負荷を分散できます。
Transparent Cache	透過キャッシュを設定することにより、CSS は、IP アドレスとポート (80) に基づいて、キャッシュに保存できる HTTP トラフィックを透過キャッシュ サーバに転送できます。
Exit Script	スクリプトを終了して、入力された情報を実行設定 (running-config) ファイルに保存します。実行設定ファイルが表示されます。

Configuration Script メニューの各項目の詳細については、次の項を参照してください。

- [レイヤ 3 ロード バランシングの設定](#)
- [レイヤ 5 ロード バランシングの設定](#)
- [プロキシ キャッシュの設定](#)
- [透過キャッシュの設定](#)

レイヤ 3 ロード バランシングの設定

レイヤ 3 ロード バランシング設定を使用すると、CSS では仮想 IP (VIP) アドレスを使用し、IP アドレスに基づいて Web サーバ間で Web トラフィックのロード バランスを取ることができます。

Layer3 load balancing を選択すると、スクリプトにより自動的に次の処理が行われます。

- 所有者 (L3_Owner) の作成
- レイヤ 3 コンテンツ ルール (L3_Rule) の作成と、ロード バランシング方式 ArrowPoint Content Awareness (ACA) の定義
- サービスの有効化
- コンテンツ ルールの有効化
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

スクリプトでは、次の項目を設定できます。

- サービス名 (デフォルト名は Server1)
- サービスの IP アドレス
- コンテンツ ルールの VIP

レイヤ 3 ロード バランシングを設定するには、**Configuration Script** メニューで **1** を入力します。

```
Which feature do you want to configure?
```

```
[1] Layer3 load balancing  
[2] Layer5 load balancing  
[3] Proxy cache  
[4] Transparent cache
```

```
Enter the number for the feature you want to configure: 1
```

■ 設定スクリプトの使用

スクリプトのデフォルト値を使用するには、各プロンプトで Enter キーを押します。

```
Creating Layer3 load balancing

Enter service name: [default = Server1]

Enter service IP address: [default = 192.168.10.3] 192.168.3.58

Create another service? [y/n]? y

Enter service name: [default = Server2]

Enter service IP address: [default = 192.168.10.3] 192.168.3.59

Create another service? [y/n]? n

Enter Virtual IP address for L3_Rule: [default = 192.168.10.4]
192.168.3.6
```

設定を指定すると、スクリプトによって自動的に次の処理が行われます。

- 実行設定ファイルの表示
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

```
Showing the Running Config
```

```
!Generated MAR 6 17:53:49
```

```
!***** GLOBAL *****
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.3.3
!***** CIRCUIT *****
circuit VLAN1
ip address 192.168.3.6 255.255.255.0
!***** SERVICE *****
service Server1
ip address 192.168.3.58
active
service Server2
ip address 192.168.3.59
active
!***** OWNER *****
owner L3_Owner
content L3_Rule
add service Server1
add service Server2
vip address 192.168.3.6
balance aca
active
#####
##      Setup Completed Successfully!!!  ##
#####
```

レイヤ 5 ロード バランシングの設定

レイヤ 5 ロード バランシング設定を使用すると、CSS では VIP アドレスを使用し、URL に基づいて Web サーバ間で Web トラフィックのロード バランスを取ることができます。

Layer 5 load balancing を選択すると、スクリプトにより自動的に次の処理が行われます。

- 所有者 (L5_Owner) の作成
- レイヤ 3 コンテンツ ルール (L3_Rule) の作成

■ 設定スクリプトの使用

- レイヤ 5 コンテンツ ルール (L5_Rule) の作成と次の項目の定義
 - プロトコル TCP
 - ポート 80
 - URL "/"*
 - ロード バランシング方式を ACA に設定
- サービスを有効化
- コンテンツ ルールを有効化
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

スクリプトでは、次の項目を設定できます。

- サービス名 (デフォルト名は Server1)
- コンテンツ ルールの VIP

レイヤ 5 ロード バランシングを設定するには、**Configuration Script** メニューで **2** を入力します。

```
Which feature do you want to configure?
```

```
[1] Layer3 load balancing
[2] Layer5 load balancing
[3] Proxy cache
[4] Transparent cache
```

```
Enter the number for the feature you want to configure: 2
```

スクリプトのデフォルト値を使用するには、各プロンプトで **Enter** キーを押します。

```
Creating Layer5 load balancing
```

```
Enter service name: [default= Server1]
```

```
Enter service IP address: [default = 192.168.10.3] 192.168.3.58
```

```
Create another service? [y/n]? n
```

```
Enter Virtual IP address for L5_Rule: [default = 192.168.10.4]
192.168.3.8
```


設定を指定すると、スクリプトによって自動的に次の処理が行われます。

- 実行設定ファイルの表示
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

```
Showing the Running Config
```

```
!Generated MAR 6 17:53:49
```

```
!***** GLOBAL *****
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.3.3
!***** CIRCUIT *****
circuit VLAN1
ip address 192.168.3.6 255.255.255.0
!***** SERVICE *****
service Server1
ip address 192.168.3.58
active
!***** OWNER *****
owner L5_Owner
content L3_Rule
add service Server1
vip address 192.168.3.8
balance aca
active
content L5_Rule
add service Server1
vip address 192.168.3.8
protocol tcp
port 80
url "/*"
balance aca
active
#####
##      Setup Completed Successfully!!!  ##
#####
```

プロキシ キャッシュの設定

プロキシ キャッシュ設定を使用すると、CSS で VIP を使用し、ドメイン名に基づいてプロキシ キャッシュ サーバ間で Web トラフィックのロード バランスを取ることができます。

Proxy Cache を選択すると、スクリプトにより自動的に次の処理が行われます。

- 所有者 (Proxy_Owner) の作成
- コンテンツ ルール (Proxy_Rule) の作成と次の項目の定義
 - サービス タイプを proxy-cache に設定
 - プロトコル TCP
 - ポート 8080
 - URL "/*"
 - ロード バランシング方式を domain に設定
 - アプリケーション タイプを HTTP に設定
- サービスを有効化
- コンテンツ ルールを有効化

スクリプトでは、次の項目を設定できます。

- サービス名 (デフォルト名は Proxy_Cache1)
- コンテンツ ルールの VIP

プロキシ キャッシュ設定を設定するには、**Configuration Script** メニューで **3** を入力します。

```
Which feature do you want to configure?
```

```
[1] Layer3 load balancing  
[2] Layer5 load balancing  
[3] Proxy cache  
[4] Transparent cache
```

```
Enter the number for the feature you want to configure: 3
```

スクリプトのデフォルト値を使用するには、各プロンプトで Enter キーを押しません。

```

Creating Proxy Cache Configuration

Enter service name: [default=Proxy_Cache1]

Enter service IP address: [default = 192.168.10.3] 192.168.3.60

Create another service? [y/n]? n

Enter Virtual IP address for Proxy_Rule: [default = 192.168.10.4]
192.168.3.9

```

設定を指定すると、スクリプトによって自動的に次の処理が行われます。

- 実行設定ファイルの表示
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

```

Showing the Running Config
!Generated MAR 6 17:53:49
!***** GLOBAL *****
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.3.3
!***** CIRCUIT *****
circuit VLAN1
ip address 192.168.3.6 255.255.255.0
!***** SERVICE *****
service Proxy_Cache1
ip address 192.168.3.60
type proxy-cache
port 8080
protocol tcp
active
!***** OWNER *****
owner Proxy_Owner
content Proxy_Rule
add service Proxy_Cache1
vip address 192.168.3.9
port 8080
protocol tcp
url "/"*
balance domain
application http
active

#####
## Setup Completed Successfully!!! ##
#####

```

透過キャッシュの設定

透過キャッシュ設定を使用すると、CSS は、IP アドレスとポート (80) に基づいて、キャッシュに保存できる HTTP トラフィックを透過キャッシュ サーバに転送します。キャッシュに保存できない HTTP トラフィックは、元のサーバへ送信されます。

Transparent Cache を選択すると、スクリプトにより自動的に次の処理が行われます。

- 所有者 (Transparent_Owner) の作成
- コンテンツ ルール (Transparent_Rule) の作成と、次の項目の定義
 - サービス タイプを transparent-cache に設定
 - プロトコル TCP
 - ポート 80
 - *Cacheable* という名前の Extension Qualifier List (EQL; 拡張子修飾子リスト)。この EQL には、サンプルの running-config ファイルで表示されるファイル タイプが含まれています。
 - URL "/"* を eql cacheable に設定
 - ロード バランシング方式を domain に設定
 - フェールオーバー タイプを bypass に設定
 - アプリケーション タイプを HTTP に設定
- サービスを有効化
- コンテンツ ルールを有効化

スクリプトでは、次の項目を設定できます。

- サービス名 (Transparent_Cache1) の設定
- キャッシュ サーバへ送信するコンテンツを定義 (キャッシュに保存可能なコンテンツだけ、または、すべてのコンテンツ)

透過キャッシュ設定を設定するには、**Configuration Script** メニューで **4** を入力します。

```
Which feature do you want to configure?
```

```
[1] Layer3 load balancing
[2] Layer5 load balancing
[3] Proxy cache
[4] Transparent cache
```

```
Enter the number for the feature you want to configure: 4
```

スクリプトのデフォルト値を使用するには、各プロンプトで **Enter** キーを押します。

```
Creating Transparent Cache Configuration
```

```
Enter service name: [default = Transparent_Cache1]
```

```
Enter service IP address: [default = 0.0.0.0] 192.168.3.7
```

```
Create another service? [y/n]? n
```

```
Transparent caching can be configured to direct only cacheable content
to the cache server. Non-cacheable content is sent directly to the
origin server.
```

```
The alternative is to direct all traffic to the cache server
regardless of whether the content is cacheable.
```

```
Should only cacheable content be directed to the cache server? [y/n]?
```

次のいずれかを入力します。

- コンテンツ ルールで URL 「/*」を eq1-cacheable に設定し、キャッシュに保存可能なコンテンツだけをキャッシュ サーバに送信する場合は、**y**
- コンテンツ ルールに URL 「/*」を設定し、すべてのコンテンツをキャッシュ サーバに送信する場合は、**n**

設定を指定すると、スクリプトによって自動的に次の処理が行われます。

- 実行設定ファイルの表示
- 実行設定の起動設定ファイルへの保存

Showing the Running Config

!Generated MAR 6 17:53:49

```

!***** GLOBAL *****
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.3.3
!***** CIRCUIT *****
circuit VLAN1
ip address 192.168.3.6 255.255.255.0
!***** SERVICE *****
service Transparent_Cache1
ip address 192.168.3.7
type transparent-cache
port 80
protocol tcp
active
!***** EQL *****
eql Cacheable
description "This EQL contains
extensions of cacheable content"
extension pdf "Acrobat"
extension fdf "Acrobat Forms Document"
extension au "Sound audio/basic"
extension bmp "Bitmap Image"
extension z "Compressed data
application/x-compress"
extension gif "GIF Image image/gif"
extension html "Hypertext Markup
Language text/html"
extension htm
extension js "Java script
application/x-javascript"
extension mocha
extension jpeg "JPEG image image/jpeg"
extension jpg
extension jpe
extension jfif
extension pjpeg
extension pjp
extension mp2 "MPEG Audio audio/x-mpeg"
extension mpa
extension abs
extension mpeg "MPEG Video video/mpeg"

```

```
extension mpg
extension mpe
extension mpv
extension vbs
extension mlv
extension pcx "PCX Image"
extension txt "Plain text text/plain"
extension text
extension mov "QuickTime video/quicktime"
extension tiff "TIFF Image image/tiff"
extension tar "Unix Tape Archive
application/x-tar"
extension avi "Video for Windows
video/x-msvideo"
extension wav "Wave File audio/x-wav"
extension gz "application/x-gzip"
extension zip "ZIP file
application/x-zip-compressed"
!***** OWNER *****
owner Transparent_Owner
content Transparent_Rule
add service Transparent_Cache1
port 80
protocol tcp
url "/" egl Cacheable or url "/"
balance domain
failover bypass
application http
active
#####
##      Setup Completed Successfully!!!  ##
#####
```

CSS のリブート

CSS をリブートするには、**reboot** コマンドを使用します。このコマンドは、ブートモードで実行できます。

スーパーユーザモードで **copy running-config startup-config** コマンドを使用して既存の **running-config** ファイルを保存した後で、**reboot** コマンドを入力して CSS をリブートします。エキスパートモードでない場合は、プロファイルと設定への変更を保存してからリブートするようにプロンプトが表示されます。

CSS をリブートするには、ブートモードで **reboot** コマンドを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# boot
(config-boot)# reboot
```

リブートするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

```
Are you sure you want to reboot the system, [y/n]
```

Y を入力して CSS をリブートします。



(注)

CSS には、**reboot** エイリアスがあります。この別名を使用すると、ユーザモード以外のどのモードからも CSS をリブートできます。**reboot** エイリアスを入力すると、現在のモードがブートモードに変更され、**reboot** コマンドが実行されます。

このコマンドを実行するには、**reboot** エイリアス全体を入力する必要があります。**reboot** エイリアスの一部をコマンドラインに入力しても、この別名全体に自動変換されません。たとえば、グローバル設定モードで **reb** と入力すると、コマンドが無効であることを表すメッセージが表示されます。

CSS のシャットダウン

CSS をシャットダウンするには、**shutdown** コマンドを使用します。このコマンドを実行すると CSS のすべてのプロセスが停止するので、電源を安全に遮断（および再投入）できる状態になります。**shutdown** コマンドはブートモードで使用可能です。

CSS をシャットダウンするには、ブートモードで次のように入力します。

```
(config-boot)# shutdown
```

シャットダウンするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

```
Are you sure you want to shutdown the system, [y/n]:
```

Yを入力して CSS をシャットダウンします。



(注) CSS には、shutdown エイリアスがあります。この別名を使用すると、ユーザモード以外のどのモードからも CSS をシャットダウンできます。shutdown エイリアスを入力すると、現在のモードがブートモードに変更され、**shutdown** コマンドが実行されます。

このコマンドを実行するには、shutdown エイリアス全体を入力する必要があります。shutdown エイリアスの一部をコマンドラインに入力しても、この別名全体に自動変換されません。たとえば、グローバル設定モードで **shutd** を入力すると、コマンドが無効であることを表すメッセージが表示されます。

以降の内容について

第2章「[CSSの基本事項の設定](#)」では、管理者のユーザ名とパスワードの変更、ユーザ名とパスワードの作成、イーサネット管理ポートの設定、スタティック IP アドレスとサブネット マスクの指定、日付時刻の設定など CSS の初期設定手順について説明します。



CSS の基本事項の設定

この章では、CSS の初期設定の手順について説明します。この章の内容は、特に指示のない限り、すべての CSS モデルに適用されます。

この章の主な内容は次のとおりです。

- [初期設定のクイック スタート](#)
- [管理者のユーザ名とパスワードの変更](#)
- [ユーザ名とパスワードの作成](#)
- [イーサネット管理ポートの設定](#)
- [IP ルートの設定](#)
- [日付、時刻、および時間帯の設定](#)
- [CSS と SNTP サーバの同期](#)
- [ホスト名の設定](#)

初期設定のクイックスタート

表 2-1 に、CSS をすばやく簡単に設定するための一般的な設定手順を示します。この表では、次の基本手順を説明します。

- ログインして設定モードに入る。
- デフォルトの管理者ユーザ名とパスワードを変更する。
- CSS にログインする追加のユーザ名とパスワードを作成する（省略可）。
- ブートモードに入り、イーサネット管理ポートの IP アドレスとサブネットマスクを設定する。
- CSS のローカルサブネットの外部にある宛先ネットワークのスタティックルートとイーサネット管理ポートを設定する（省略可）。
- デフォルトの IP ルートを設定する。
- 日付、時刻、および時間帯を入力する（省略可）。
- Simple Network Time Protocol (SNTP; 簡易ネットワークタイムプロトコル) サーバを指定する（省略可）。

イーサネット管理ポートの IP アドレスの設定後は、そのままコンソールポートを使用しても構いませんが、イーサネット管理ポートを経由して CSS に telnet 接続し、リモートから設定を行うことも可能です。

表 2-1 初期設定のクイックスタート

作業とコマンドの例

1. 管理者のデフォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (system) またはブート時に指定したユーザ名とパスワードを使用して CSS にログインします。

CSS へのログインの詳細については、第 1 章「ブート、ログイン、および起動」を参照してください。

2. 設定モードに入ります。

```
# config
(config)#
```

3. デフォルトの管理者ユーザ名とパスワードを変更します。

```
(config)# username-offdm bobo password secret
```

表 2-1 初期設定のクイック スタート (続き)

作業とコマンドの例

4. CSS にログインするための追加ユーザ名とパスワードを作成します (省略可)。CSS は、管理者や技術者用のユーザ名を含め、最大で 32 個のユーザ名をサポートします。各ユーザには、SuperUser が User のステータスを割り当てることができます。

```
(config)# username picard password "captain" superuser
```

5. ブート モードに入り、イーサネット管理ポートの IP アドレスを設定します。他の CSS virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) の IP サブネットに属さない IP アドレスを設定してください。この条件を満たさないと、イーサネット管理ポートにはアクセスできません。新しい IP アドレスを有効にするには、CSS をリブートする必要があります。

```
(config)# boot
(config-boot)# ip address 172.16.6.58
```

6. ブート モードでイーサネット管理ポートのサブネット マスクを設定します。

```
(config-boot)# subnet mask 255.255.255.0
```

7. ブート モードを終了して設定モードに戻ります。

```
(config-boot)# exit
```

8. 必要に応じてスタティック IP ルートを設定します。

```
(config)# ip route 192.168.0.0 255.255.0.0 192.168.1.1
```

9. 設定モードを終了し、日付を設定します。clock date コマンドでは、いったん入力した内容は訂正できません。日付入力を誤った場合は、コマンドを再実行して入力をやり直します。

日付は、*mm-dd-yy* の形式で指定します。

```
# clock date
Enter date: [12-31-03] 12-31-03
```

日付をヨーロッパ形式 (「日、月、年」の順序) で指定する場合は、設定モードで `date european-date` コマンドを実行します。この結果、clock date コマンドが、「日、月、年」の形式の入力を受け付けるようになります。

```
(config)# date european-date
(config)# exit
# clock date
Enter date: [31-12-03] 31/12/03
```

表 2-1 初期設定のクイックスタート (続き)

作業とコマンドの例

10. **clock time** コマンドを使用して時刻を設定します。**clock time** コマンドでは、いったん入力した内容は訂正できません。時刻入力を誤った場合は、コマンドを再実行して入力をやり直します。

時刻は *hh:mm:ss* の形式で指定します。

```
# clock time
Enter time: [15:17:33] 16:17:33
```

11. (省略可) SNTP サーバを使用して CSS システム クロックを同期させる場合は、時間帯と Universal Time Coordinated (UTC; 世界標準時) とのオフセットを指定します。

```
# clock timezone EST hours 3 before-UTC
```

12. (省略可) SNTP サーバを使用して CSS システム クロックを同期させる場合は、設定モードに入り、SNTP サーバとポーリングの周期を指定します。

```
# config
(config)# sntp server 192.168.19.21 version 2
(config)# sntp poll-interval 90
```

13. 設定の変更内容を `running-config` ファイルに保存します (推奨)。変更内容を `running-config` ファイルに保存しないと、リブート時にすべて失われます。

```
(config)# exit
# copy running-config startup-config
```

次の実行設定例は、表 2-1 のコマンドの入力結果を表しています。

```
!***** GLOBAL *****
username picard des-password lhbfoeqbyecclcac superuser
sntp server 192.168.19.21 version 2
sntp poll-interval 90

ip route 192.168.0.0 255.255.0.0 192.168.1.1 1
```

管理者のユーザ名とパスワードの変更

CSS に最初にログインするときは、デフォルトのユーザ名 **admin** とデフォルトのパスワード **system** を小文字で入力します。セキュリティを確保するため、管理者のユーザ名とパスワードは変更する必要があります。出荷時には、すべての CSS で管理者のユーザ名とパスワードが同一に設定されているため、CSS のセキュリティが損なわれる可能性があります。

管理者のユーザ名とパスワードは、NonVolatile Random Access Memory(NVRAM; 不揮発性 RAM) に保持されています。CSS をリブートするたびに、ユーザ名とパスワードが NVRAM から読み取られ、ユーザ データベースに書き込まれます。管理者のユーザ名には、デフォルトで SuperUser ステータスが割り当てられています。

管理者のユーザ名とパスワードは変更できますが、これらの値は NVRAM 内に保持されているため、完全に削除することはできません。管理者のユーザ名を **no username** コマンドで削除すると、そのユーザ名は **running-config** ファイルから削除されますが、リブートすると NVRAM から復元されます。

管理者のユーザ名とパスワードを変更するには、**username-offdm name password text** コマンドを使用します。



(注)

ブート時に **Offline DM** メニューの **Security Options** メニューを使用して、管理者のユーザ名とパスワードを変更することもできます。**Offline DM** メニューの詳細については、『*Cisco Content Services Switch Administration Guide*』を参照してください。

たとえば、デフォルトの管理者のユーザ名とパスワードを変更するには、次のように入力します。

```
(config)# username-offdm bobo password secret
```

ユーザ名とパスワードの作成

CSS にログインする各ユーザには、SuperUser または User のステータスを割り当てることができます。

- **User** : 一部のコマンド群を使って CSS パラメータの監視や表示を実行できるが、CSS パラメータを変更することはできない。User ステータスのプロンプトには、末尾に > が付きます。
- **SuperUser** : User ステータスで使用できる各コマンドを含む CSS のすべての Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドを使って CSS を設定できる。SuperUser ステータスのプロンプトには、末尾に # が付きます。

CSS にログインするためのユーザ名とパスワードは、**username** コマンドで作成します。CSS は、管理者や技術者用のユーザ名を含め、最大で 32 個のユーザ名をサポートします。

SuperUser モードでは、グローバル設定モードと、その下位の各設定モードを利用できます。新しいユーザを設定する際に **superuser** オプションを指定しないと、新しいユーザはデフォルトで User ステータスになります。



注意

ユーザ名やパスワードを作成したり変更したりできるのは、管理者または技術者として認識される CSS ユーザだけです。この制限は、**restrict user-database** コマンドが実行済みかどうかによって左右されます (『Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide』 参照)。

このグローバル設定モード コマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
username name [des-password|password] password {superuser} {dir-access
  access}
```

次の例は、ユーザ名 *picard*、パスワード *captain* のユーザを、SuperUser ステータスで作成しています。

```
(config)# username picard password "captain" superuser
```

このコマンドのオプションと変数は次のとおりです。

- **name** : 割り当てまたは変更するユーザ名を設定する。スペースを含まない 16 文字以内の文字列を、引用符で囲まずに指定します。既存のユーザ名のリストを表示するには、**username ?** コマンドを使用します。
- **des-password** : Data Encryption Standard (DES; データ暗号化規格) 形式でパスワードを入力する。このオプションは、スクリプトや起動設定ファイルを作成する場合だけに使用します。大文字と小文字を区別して、スペースを含まない 6 ~ 64 文字の DES 暗号化されたテキスト文字列を引用符で囲まずに入力します。



(注) **des-password** オプションを指定した場合に CSS に正しくログインするには、暗号化されたパスワードが必要になります。CSS 暗号化パスワードは、**running-config** ファイルの「Global」セクションに指定されています。**running-config** を表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

- **password** : パスワードの入力時に画面上でパスワードを暗号化しない。ただし、**running-config** では CSS によってパスワードが DES 暗号化され、保護されます。このオプションは、コマンドラインでユーザを作成するときに使用します。大文字と小文字を区別して、スペースを含まない 6 ~ 16 文字のテキスト文字列を引用符で囲まずに入力します。
- **password** : 入力するテキスト文字列。CSS では、パーセント記号 (%) を除いたすべての特殊文字をパスワードで使用できます。
- **superuser** : ユーザに SuperUser モードの利用を許可する。このオプションを指定しない場合は、ユーザが利用できるのは User モードだけです。
- **dir-access** : (省略可) 指定した名前のユーザを対象に、CSS ディレクトリへのアクセス権を指定する。CSS の 7 つのディレクトリ、つまり **script**、**log**、**root** (インストール済み CSS ソフトウェア)、**archive**、**release root** (設定ファイル)、**core**、**MIB** の各ディレクトリには、この順序でアクセス権が割り当てられています。デフォルトでは、7 つのディレクトリすべてに対して読み取りと書き込みの両方の権限 (B) がユーザに与えられます。管理者や技術者は **dir-access** オプションによって、これらの各ディレクトリへの一連のアクセス権を、ユーザごとに設定できます。アクセス権の変更は、ディレクトリ関連の CLI コマンドの使用にも影響を与えます。

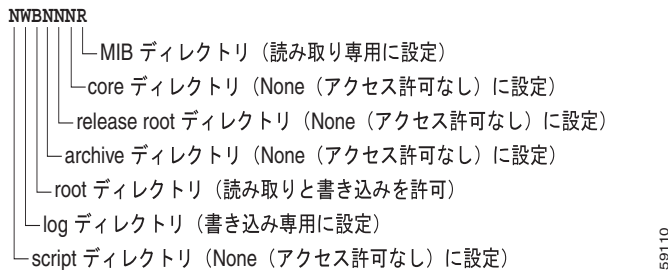
dir-access オプションを使用するには、その前に **restrict user-database** コマンドを実行し、CSS ユーザ データベースにセキュリティ制限を設定する必要があります (『Cisco Content Services Switch Administration Guide』参照)。

■ ユーザ名とパスワードの作成

- *access* : 指定した名前のユーザを対象に、ディレクトリへのアクセス権を指定する。デフォルトでは、7つのディレクトリすべてに対して読み取りと書き込みの両方の権限（B）がユーザに与えられます。これらの各ディレクトリへのアクセス権を表す次のコードを、連結した文字列として入力します。
 - R : CSS ディレクトリへの読み取り専用アクセス
 - W : CSS ディレクトリへの書き込み専用アクセス
 - B : CSS ディレクトリへの読み取りおよび書き込みを許可
 - N : CSS ディレクトリへのアクセスを許可しない

図 2-1 に、ユーザのディレクトリへのアクセス権の例を示します。

図 2-1 CSS ディレクトリへのアクセス権



たとえば、ユーザ名 *picard* のディレクトリへのアクセス権を設定するには、次のように入力します。

```
(config)# username picard password "captain" superuser NWBNNNR
```

既存のユーザ名のリストを表示するには、次のように入力します。

```
(config)# username ?
```

既存のユーザ名を削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no username picard
```

ユーザのパスワードを変更するには、`username` コマンドを実行して、新しいパスワードを指定します。ユーザのステータスが `SuperUser` の場合には、`superuser` オプションも忘れずに指定してください。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# username picard password "flute" superuser
```

**注意**

`no username` コマンドはユーザを完全に削除します。このコマンドは、いったん実行すると元に戻せないため、注意して使用してください。

イーサネット管理ポートの設定

イーサネット管理ポートを使用すると、CSS に接続し、CSS の管理機能を実行できます。イーサネット管理ポートでは、次のような管理機能がサポートされています。

- SSH によるセキュアリモートログイン
- Telnet によるリモートログイン
- アクティブFTPによるファイル転送
- SNMP クエリー
- CVDM ユーザインターフェイスへのHTTPSアクセス
- SNTP
- DNS
- ICMP リダイレクト
- RADIUS
- syslog
- CDP
- TACACS
- XML によるCSSの設定変更



(注) スタティック ルートを使用して管理 LAN 外のサブネットから CSS の管理を行う場合は、上記のうち CDP、DNS、SNTP、および TACACS を除く管理アプリケーションがイーサネット管理ポートでサポートされます。スタティック ルートの詳細については、「[イーサネット管理ポートのスタティック ルートの設定](#)」を参照してください。

イーサネット管理ポートでは、CSS から ping と traceroute を開始することもできます。

イーサネット管理ポートは、CSS 11501、CSS 11503、または CSS 11506 SCM の前面パネルにあります。

CSS のイーサネット管理ポートにアクセスするには、そのポートに IP アドレスとサブネット マスクを割り当てる必要があります。イーサネット管理ポート以外のサブネットから CSS を管理するには、イーサネット管理ポートのスタティック ルートを設定します。

Offline Diagnostic Monitor (Offline DM) メニューを使用して別のサブネット上のイメージから CSS をブートするには、イーサネット管理ポートにデフォルト ゲートウェイを設定します。

イーサネット管理ポートの設定時または使用時には、次の点に注意してください。

- ダイナミック ルーティング プロトコル (RIP や OSPF など) は、イーサネット管理ポートではサポートされない。
- イーサネット管理ポートとイーサネット インターフェイス ポートとの間では、パケット ルーティングまたはパケット転送がサポートされない。
- イーサネット管理ポートでは、Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) がサポートされない。
- いずれかのイーサネット インターフェイス ポート用に設定された IP アドレス、VIP 範囲、またはスタティック ルートに一致または重複するイーサネット管理ポートの IP アドレスを指定できない。重複または一致する IP アドレスを指定しようとすると、エラー メッセージが表示され、コマンド入力を完了できません。
- イーサネット管理ポートでは、CSS のポート情報を取得するための SNMP 要求がサポートされるが、CSS エンタープライズ MIB からイーサネット管理ポートにデータは返らない。

ここでは、次の内容について説明します。

- [イーサネット管理ポートの IP アドレスとサブネット マスクの設定](#)
- [イーサネット管理ポートのスタティック ルートの設定](#)
- [イーサネット管理ポート用デフォルト ゲートウェイの設定](#)
- [イーサネット管理ポートの ICMP リダイレクトの廃棄](#)
- [イーサネット管理ポートの遮断](#)

イーサネット管理ポートのIPアドレスとサブネットマスクの設定

CSSのイーサネット管理ポートにアクセスするには、そのポートにIPアドレスとサブネットマスクを割り当てる必要があります。イーサネット管理ポートのIPアドレスを設定する場合は、次の点に注意してください。

- CSS VLAN回線の他のIPサブネットに属さないIPアドレスを割り当ててください。このIPアドレスが一意でないと、イーサネット管理ポートにはアクセスできません。管理ポートのIPアドレスが重複していると、CSS回線からの転送、またはCSS回線への送信の全トラフィックに障害が発生します。
- イーサネット管理ポートのIPアドレスは、0.0.0.0に設定することもできます。その場合には、管理ポートはリポート時に無効になります。IPアドレスを0.0.0.0に設定した後、`subnet mask`コマンドの実行を試みると、`The mask cannot be set because the IP address is 0.0.0.0`というメッセージが表示されます。

イーサネット管理ポートにIPアドレスを設定するには、`ip address`コマンドを使用します。イーサネット管理ポートのサブネットマスクを設定するには、`subnet mask`コマンドを使用します。これらのコマンドは、ブートモードで実行できます。イーサネット管理ポートの新しいIPアドレスとサブネットを有効にするには、CSSをリポートする必要があります。

イーサネット管理ポートのIPアドレスを最初に入力するときに、CSSによってサブネットマスクがデフォルトの255.255.255.0に自動設定されます。ただし、このデフォルト値は、ユーザ独自のサブネットマスクで上書きできます。

たとえば、イーサネット管理ポートのIPアドレスを指定するには、次のように入力します。

```
(config)# boot
(config-boot)# ip address 172.16.6.58
```

たとえば、イーサネット管理ポートのサブネットマスクを255.255.255.0に設定するには、次のように入力します。

```
(config-boot)# subnet mask 255.255.255.0
```

`ip address` コマンドと `subnet mask` コマンドには、`no` 形式のコマンドはありません。イーサネット管理ポートの IP アドレスを変更するには、`ip address` コマンドを再入力して、新しい IP アドレスを入力します。サブネットマスクを変更するには、`subnet mask` コマンドを再入力して、新しいサブネットマスクを入力します。

イーサネット管理ポートのスタティック ルートの設定

イーサネット管理ポート以外のサブネットから CSS を管理するには、イーサネット管理ポートのスタティック ルートを設定します。スタティック ルートのエントリは、宛先のネットワーク IP アドレスとネクストホップ ルータの IP アドレスで構成されます。イーサネット管理ポートには、最大 8 つのスタティック ルートを設定できます。



(注)

スタティック ルートを使用して管理 LAN 外のサブネットから CSS の管理を行う場合は、「[イーサネット管理ポートの設定](#)」に記述されている一覧のうち CDP、DNS、SNTP、および TACACS を除く管理アプリケーションがイーサネット管理ポートでサポートされます。

イーサネット管理ポートのスタティック ルートを設定する場合は、次の点に注意してください。

- CSS では、イーサネット管理ポート用の内部（暗黙的な）サービスによるスタティック ルートのネクストホップ アドレスの定期的なポーリングを行いません。ICMP エコー（または ping）キーブアライブによるネクストホップ アドレスの定期的なポーリングは、イーサネット インターフェイス ポートにスタティック ルートを設定している場合にだけ行われます。
- `rip redistribute static` および `ospf redistribute static` コマンドは、イーサネット管理ポートに設定されたスタティック ルートをアドバタイズしません。この 2 つのコマンドがアドバタイズするのは、イーサネット インターフェイス ポートに設定されたスタティック ルートだけです。

イーサネット管理ポートのスタティック ルートを設定するには、`ip management route` コマンドを使用します。このコマンドは、グローバル設定モードで実行できます。

■ イーサネット管理ポートの設定

`ip management route` コマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
ip management route ip_address subnet_mask ip_address2
```

変数は次のとおりです。

- `ip_address` : 送信先のネットワーク アドレス。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.0 など) で入力します。
- `subnet_mask` : IP サブネット マスク。次のいずれかの形式で指定します。
 - classless interdomain routing (CIDR) ビット数表記でのプレフィックス長 (たとえば、/24)
 - ドット付き 10 進表記での IP アドレス (たとえば、255.255.255.0)
- `ip_address2` : ルートでのネクストホップのアドレス。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.0 など) で入力します。

たとえば、イーサネット管理ポートのスタティック ルートを設定するには、次のように入力します。

```
(config)# ip management route 172.27.59.0 /24 172.16.6.100
```

イーサネット管理ポートのスタティック ルートを無効にするには、次のように入力します。

```
(config)# no ip management route 172.27.59.0 /24 172.16.6.100
```

イーサネット管理ポート用デフォルト ゲートウェイの設定

イーサネット管理ポートを使用すると、ブート イメージが別のサブネットにある場合でも **Offline DM** メニューを使用して CSS をブートできます。イーサネット管理ポートにデフォルト ゲートウェイを設定するには、`gateway address` コマンドを使用します。このコマンドは、ブート モードで実行します。

Offline DM で使用するイーサネット管理ポートのデフォルト ゲートウェイ アドレスを指定するには、次のように入力します。

```
(config)# boot  
(config-boot)# gateway address 172.16.6.110
```


デフォルト ゲートウェイを無効にして IP アドレス 0.0.0.0 に設定するには、`gateway address` コマンドの先頭に `no` を付けて実行します。たとえば、次のように入力します。

```
config-boot)# no gateway address
```

イーサネット管理ポートのデフォルト ゲートウェイ 0.0.0.0 は、CSS ブート設定の `show boot-config` コマンドの出力に表示されません。

イーサネット管理ポートの ICMP リダイレクトの廃棄

デフォルトでは、すべての着信 ICMP リダイレクトがイーサネット管理ポートで受け付けられます。イーサネット管理ポートにスタティック ルートを設定していない場合は、すべての ICMP リダイレクト パケットが無効になりますが、スタティック ルートを設定している場合は、このポートへの ICMP リダイレクトがルーティング テーブルのエントリとして受け付けられます。

イーサネット管理ポートにスタティック ルートを設定している場合は、CSS のセキュリティを強化するために、CSS の管理ポートで ICMP リダイレクトを廃棄するように設定してください。



(注)

イーサネット管理ポートから ICMP リダイレクトが転送されることはありません。

ICMP リダイレクト パケットを受け付けるように管理ポートを設定している場合にスタティック ルートを削除すると、そのスタティック ルートに関連付けられた ICMP リダイレクトによって作成されたルータ エントリがルーティング テーブルから削除されます。

イーサネット管理ポートで ICMP リダイレクト パケットを廃棄するように CSS を設定するには、次のように入力します。

```
(config)# ip management no-icmp-redirect
```

■ イーサネット管理ポートの設定

イーサネット管理ポートで ICMP リダイレクト パケットを受け付けるように、デフォルトの動作にリセットするには、次のように入力します。

```
(config)# no ip management no-icmp-redirect
```

管理ポートで ICMP リダイレクト パケットを受け付けるか、または廃棄するかを確認するには、**show ip configuration** コマンドを使用して、IP 管理ポートの ICMP リダイレクト フィールドを表示します。ポートで ICMP リダイレクトを受け付ける場合は、このフィールド エントリとして「enable」が表示されます。ポートで ICMP リダイレクトを廃棄する場合は、このフィールド エントリとして「disable」が表示されます。

イーサネット管理ポートの遮断

イーサネット管理ポートを遮断するには、**admin-shutdown** コマンドまたは **shut** コマンドを使用します。

次に例を示します。

- CSS 11501 のイーサネット管理ポートを **admin-shutdown** コマンドで遮断するには、次のように入力します。

```
(config-if[Ethernet-Mgt])# admin-shutdown
```

- CSS 11501 のイーサネット管理ポートを **shut** コマンドで遮断するには、次のように入力します。

```
(config-if[Ethernet-Mgt])# shut
```

shut コマンドを使用すると、CSS によって **shut** コマンドが実行設定内の **admin-shutdown** コマンドに変更されます。

IP ルートの設定

CSS との IP 接続を確立するには、CSS をネクストホップ ルータに接続するためのスタティック IP ルートが必要です。スタティック ルートは、宛先ネットワーク アドレス、マスク、宛先に到達するためのネクストホップで構成されます。デフォルトのスタティック ルートを指定して (0.0.0.0 を宛先ネットワーク アドレスおよび有効なネクストホップ アドレスとして使用) ルーティング テーブルに他の宛先が示されていないフレームを転送することもできます。デフォルトのスタティック ルートは、CSS が経路指定できないパケットを転送するのに便利です。

スタティック IP ルートを設定すると、CSS は、内部 ICMP キープアライブ サービスでネクストホップ ルータを定期的にポーリングしてルータが正常に機能していることを確認します。ルータに障害が発生すると、CSS はそのルータを経由する全ルートをルーティング テーブルから削除し、そのルータへのトラフィック送信を停止します。ルータが障害から回復すると、CSS は次の処理を行います。

- ルータを認識する。
- ルーティング テーブルに適切なルートを再入力する。

スタティック IP ルートを設定するには、`ip route` コマンドを使用して、次のいずれかを指定します。

- IP アドレスとプレフィックス長 (192.168.1.0 /24 など)
- IP アドレスとサブネット マスク (192.168.1.0 255.255.255.0 など)

`ip route` コマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
ip route ip_address subnet_mask ip_address2
```

変数は次のとおりです。

- *ip_address* : 送信先のネットワーク アドレス。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.1 など) で指定します。
- *subnet_mask* : IP サブネット マスク。次のいずれかの形式で指定します。
 - CIDR ビット数表記でのプレフィックス長 (/24 など)
 - ドット付き 10 進表記での IP アドレス (255.255.255.0 など)
- *ip_address2* : ルートでのネクストホップのアドレス。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.1 など) で指定します。

■ IP ルートの設定

たとえば、スタティック IP ルートを宛先ネットワーク アドレス *192.168.0.0 /16* とネクストホップ アドレス *192.168.1.1* に設定するには、次のように入力します。

```
(config)# ip route 192.168.0.0 /16 192.168.1.1
```

デフォルト IP アドレスを宛先アドレスの *0.0.0.0* とネクストホップ アドレス *192.167.1.1* に設定するには、次のように入力します。

```
(config)# ip route 0.0.0.0 /0 192.167.1.1
```

IP ルートの設定については、『*Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide*』を参照してください。

日付、時刻、および時間帯の設定

CSS に日付や時刻、時間帯を設定するには、`clock` コマンドを使用します。このコマンドをそのまま実行すると、現在の日時が表示されます。

`clock` コマンドでは、いったん入力した内容は訂正できません。日付、時刻、または時間帯の入力を誤った場合は、コマンドを再実行して入力をやり直す必要があります。

ここでは、次の内容について説明します。

- [日付の設定](#)
- [欧州形式の日付の設定](#)
- [時刻の設定](#)
- [時間帯の設定](#)
- [夏時間の設定](#)
- [日付と時刻の表示](#)

日付の設定

日付の設定には、`clock date` コマンドを使用します。プロンプトが表示され、現在の日付が正しい形式で表示されます。月、日、年を表す数値を、ダッシュ (-) で区切って入力します。たとえば、2003 年 6 月 15 日は、06-15-03 と入力します。

次のように、`mm-dd-yy` の形式で新しい日付を入力してください。

```
# clock date
Enter date: [12-31-03] 12-31-03
```

欧州形式の日付の設定

欧州形式の「日、月、年」の順序で日付を指定するには、`date european-date` グローバル設定モードコマンドを使用します。このコマンドにより、`clock date` コマンドは、日、月、年をスラッシュ (/) で区切った日付を受け入れます。

■ 日付、時刻、および時間帯の設定

次のように、*dd/mm/yy* の形式で新しい日付を入力してください。

```
(config)# date european-date
(config)# exit
# clock date
Enter date: [31-12-03] 31/12/03
```

clock date コマンドの日付形式をデフォルト（「月、日、年」の順序）に戻すには、次のように入力します。

```
(config)# no date european-date
```

時刻の設定

時刻の設定には、**clock time** コマンドを使用します。このコマンドは、時刻を 24 時間形式で設定します。プロンプトが表示され、現在の時刻が正しい形式で表示されます。時間、分、秒を表す数値を、コロン（:）で区切って入力します。

次のように、*hh:mm:ss* の形式で新しい時刻を入力してください。

```
# clock time
Enter time: [15:12:38] 16:12:38
```

時間帯の設定

CSS に時間帯を指定して、CSS システム クロックを SNTP サーバに同期させるには、**clock timezone** コマンドを実行します。CSS で保持される時間は現地時間です。SNTP サーバによって、Universal Time Coordinated（UTC; 世界標準時またはグリニッジ標準時）が、現地時間からのオフセットを基に計算されます。必要に応じて、UTC とのオフセットには、負の値（-05:-23:+00 など）と正の値（+12:+00:+00 など）のどちらも指定できます。

時間帯情報を 00:00:00 にリセットするには、**clock timezone** コマンドを、先頭に **no** を付けて実行します。この形式で実行すると、クロックが時間帯のオフセットを伴わない時刻になります。



(注)

`clock timezone` コマンドは、CSS で SNTP サーバを指定しており、CSS システムの UTC 時間を SNTP サーバに同期させていることが前提になります。SNTP サーバを設定していない場合には、時間帯情報は使用されません。詳細については、「[CSS と SNTP サーバの同期](#)」を参照してください。

`clock timezone` コマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
clock timezone name hours hours {before-UTC|after-UTC} {minute minutes
    {before-UTC|after-UTC}}
```

このコマンドのオプションと変数は次のとおりです。

- **timezone name** : 時間帯の名前。スペースを含まない 32 文字以内の文字列を指定します。
- **hours hours** : 時間帯の UTC からのオフセット。0 ~ 12 の数値を入力します。**before-UTC** オプションまたは **after-UTC** オプションとともに使用してオフセットの正負を指定します。
- **before-UTC** : UTC からのオフセットが負の値であることを指定する。たとえば、hours オプションの値が 12 の場合には、**before-UTC** を指定すると、オフセットは -12 時間になります。
- **after-UTC** : UTC からのオフセットが正の値 (デフォルトのオフセット) であることを指定する。
- **minute minutes** : 時間帯の分単位のオフセット。0 ~ 59 の数値を入力します。**before-UTC** オプションまたは **after-UTC** オプションとともに使用してオフセットの正負を指定します。

たとえば、時間帯として EST (米国東部標準時) を -3 時間のオフセットで指定するには、次のように入力します。

```
# clock timezone EST hours 3 before-UTC
```

時間帯のオフセットを 00:00:00 に戻し、時間帯のオフセットを伴わない新しい時刻にクロックを設定するには、次のように入力します。

```
# no clock timezone
```

夏時間の設定

デフォルトでは、クロックが自動的に daylight saving time (DST; 夏時間) に変更されることはありません。DST または各国、各地域ごとに異なる規定に合わせて、自動的にクロックを変更するように設定することができます。DST は、世界の多くの国でサマー タイム (夏時間) と呼ばれています。

CSS の DST 機能では、DST の開始と終了日付、時刻、および時刻のオフセット (分単位) を設定できます。DST 機能は、CSS SNTP 機能と両立性がありますが、SNTP を設定していなくても動作します。SNTP と DST の両方が設定された CSS では、Coordinated Universal Time (UTC; 世界標準時) を SNTP から取得し、UTC からの適切なオフセットを CSS クロックの時間帯情報により得ます。



(注)

コマンド スケジューラでスケジューリングされたコマンドは、DST の開始および終了時の時刻変更の影響を受ける場合があります。クロックが DST を開始するのと同じ時期にコマンドの実行スケジュールが設定されている場合には、このコマンドは実行されません。ただし、DST 期間の終了で時刻が戻り、このときにコマンドの実行スケジュールが設定されている場合、コマンドは 2 回実行されます。

CSS クロックを DST に設定するには、SuperUser モードで `clock summer-time` コマンドを使用します。このコマンドにより、毎年または単年で DST が発生するように設定することができます。時刻のオフセットを分単位で設定することもできます。CSS の DST 設定方法については、次の項を参照してください。

- [毎年発生する DST の設定](#)
- [単年限りの DST 設定](#)
- [CSS での DST の無効化](#)

CSS での DST 設定 または DST が無効かどうかを表示するには、`show clock` コマンドを使用します。詳細については、「[日付と時刻の表示](#)」を参照してください。



(注)

DST 設定情報は NVRAM に保存されます。

毎年発生する DST の設定

CSS で DST が毎年発生するように設定するには、`clock summer-time` コマンドで `recurring` オプションを指定します。他のオプションを伴わずに `recurring` キーワードを指定すると、United States (US; 米国) 標準の DST 60 分オフセットが設定されます。US DST は、4 月の最初の日曜日の午前 2 時に開始し、10 月の最後の日曜日の午前 2 時に標準時間に復帰します。シンタックスを次に示します。

```
clock summer-time name recurring
```

name 変数は、DST 時に `show clock` コマンドを使用した場合に表示される 3 文字の時間帯名 (EDT、CDT、PDT など) です。

たとえば、毎年デフォルトの US 標準時間の DST を使用して東部夏時間を示す時間帯名 EDT を設定するには、次のように入力します。

```
# clock summer-time EDT recurring
```

`show clock` コマンドを使用してこの設定を表示すると、`Summer Time` フィールドに `1 Sunday April 2:00 last Sunday October 2:00 60` が表示されます。

CSS の DST を毎年 US 標準とは別の日時に発生するように設定する場合、次のシンタックスで DST の開始および終了の日付と時刻を入力する必要があります。

```
clock summer-time zone recurring start_week start_day start_month hh:mm  
end_week end_day end_month hh:mm {offset}
```

このコマンドには、次のオプションがあります。

- *zone* : 時間帯を指定する 3 文字の名前。
- *start_week* : DST を開始する週。1 ~ 4 の数値、または `last` を入力します。
- *start_day* : DST を開始する曜日。Sunday ~ Saturday の曜日を入力します。
- *start_month* : DST を開始する月。January ~ December の月を入力します。
- *hh:mm* : 24 時間形式の時間と分で表す時刻。たとえば、午前 2 時は 02:00 と入力し、午後 2 時は 14:00 と入力します。
- *end_week* : DST を終了する週。1 ~ 4 の数値、または `last` を入力します。
- *end_day* : DST を終了する曜日。Sunday ~ Saturday の曜日を入力します。
- *end_month* : DST を終了する月。January ~ December の月を入力します。
- (省略可) *offset* : DST の時間に加える分単位の値。デフォルトのオフセットは 60 です。1 ~ 240 の数値を入力します。

■ 日付、時刻、および時間帯の設定

たとえば、時間帯 EDT の DST を 6 月の最初の日曜日の午前 2 時に開始し、10 月の最後の日曜日の午前 2 時に終了するには、次のように入力します。

```
# clock summer-time EDT recurring 1 Sunday June 02:00 last Sunday
October 02:00
```

単年限りの DST 設定

CSS で DST が単年限りで発生するように設定するには、次のシンタックスで、**clock summer-time** コマンドの **date** キーワードを指定します。

```
clock summer-time zone date dateStart monthStart yearStart hh:mm dateEnd
monthEnd yearEnd hh:mm {offset}
```

- *zone* : 時間帯を指定する 3 文字の名前。
- *dateStart* : DST を開始する日付。1 ~ 31 の数値を入力します。
- *monthStart* : DST を開始する月。January ~ December の月を入力します。
- *yearStart* : DST を開始する年。2000 ~ 2079 の数値を入力します。
- *hh:mm* : 24 時間形式の時間と分で表す時刻。午前 2 時は 02:00 と入力します。午後 2 時は 14:00 と入力します。
- *dateEnd* : DST を終了する日付。1 ~ 31 の数値を入力します。
- *monthEnd* : DST を終了する月。January ~ December の月を入力します。
- *yearEnd* : DST を終了する年。2000 ~ 2079 の数値を入力します。
- (省略可) *offset* : DST の時間に加える分単位の値。デフォルトのオフセットは 60 です。1 ~ 240 の数値を入力します。

たとえば、時間帯 PDT の DST を 2005 年 10 月 2 日の午前 2 時に開始し、2006 年 5 月 2 日の午前 2 時に終了するには、次のように入力します。

```
# clock summer-time PDT date 2 October 2005 02:00 2 May 2006 02:00
```

CSS での DST の無効化

CSS の デフォルトの動作の DST を無効にするには、**no clock summer-time** コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
# no clock summer-time
```

日付と時刻の表示

現在の日付と時刻を表示するには、`show clock` コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
# show clock
```

表 2-2 に、`show clock` コマンドで表示される各フィールドと、その説明を示します。

表 2-2 show clock コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Date	「月、日、年」(mm-dd-yyyy)形式で設定された日付。たとえば、2005年6月15日は、06-15-2005と表示されます。 <code>date european-date</code> コマンドを使用すると、日付の形式は「日、月、年」(dd-mm-yyyy)になります。たとえば、2005年6月15日は、15-06-2005と表示されます。
Time	「時間、分、秒」(hh:mm:ss)の形式で設定された時刻(16:23:45など)。 SNTP サーバを設定している場合には、 <code>show clock</code> コマンドは、時間帯とのオフセットを基に調整された時刻を表示します。 <code>show clock</code> コマンドは、SNTP サーバから取得された UTC 時刻を表示します。ただし、時間帯を設定している場合には、時間帯のオフセットを基に調整された時刻が表示されます。たとえば、SNMP サーバから得られた UTC 時刻が 16:30:43 で、時間帯に 5 時間 30 分の負のオフセット (-05:-30:+00) を設定している場合には、表示される時刻は 11:00:43 になります。

表 2-2 show clock コマンドの出力フィールド (続き)

フィールド	説明
TimeZone	<p>SNTP サーバから取得した時間帯とオフセットの名前。夏時間 (DST) が設定されている場合、DST の実施中には、設定されている DST 時間帯名が表示されます。</p> <p>オフセットのすべての桁が 0 (00:00:00) の場合には、時間帯のオフセットは設定されていません。マイナス記号(-) は、UTC からのオフセットが負の値 (-05:-23:+00 など) であることを示します。プラス(+)は、UTC からのオフセットが正の値 (+12:+00:+00 など) であることを示します。</p> <p>DST が設定されている場合、このフィールドには、DST の自動更新または日付設定を示す角カッコ付きの情報も表示されます。DST の実施中には、設定された時間帯名、および標準時間の開始日付と時刻が表示されます。標準時間が実施されている場合は、設定されている DST 時間帯名、およびその開始日付と時刻が表示されます。</p>
Summer Time	DST を設定する時間帯の 3 文字の名前。Disabled は、CSS に DST が設定されていないことを示します。
Change	DST の時刻に加える分単位の値。デフォルトのオフセットは 60 です。
Added	クロックが DST へ移行する際の現行 DST 設定
Removed	クロックが標準時間へ移行する際の現行 DST 設定

CSS と SNTP サーバの同期

SNTP を使用すると、コンピュータ システムのクロックを、インターネット上の指定した SNTP サーバのシステム クロックに同期させることができます。SNTP は、Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) を、クライアント専用 to 簡略化したプロトコルです。SNTP を使用すれば、CSS の時刻を任意の SNTP サーバの時刻に同期させることができます。CSS に SNTP を設定するには、`sntp` コマンドを使用します。

正確な時刻は、UTC に合わせることで得られます。UTC は、100 ミリ秒単位まで正確な時刻を示します。現地時間帯に関する情報を設定して、現地時間帯を基に正確な時刻を表示することができます。1 つのサーバが利用不可になった場合に備えて、2 つの SNTP サーバ (プライマリおよびセカンダリ) を設定することができます。CSS では、両方のサーバから時刻を受信できますが、プライマリサーバの時刻だけを使用します。プライマリサーバが利用できない場合、セカンダリサーバの時刻を使用します。



(注) CSS を使用して、時刻サービスを他の装置に供給することはできません。

時刻を SNTP サーバに同期させる前に、CSS に適切な時間帯 (EST など) を設定する必要があります。また、CSS の内部クロックと SNTP サーバクロックの時差が 24 時間未満かどうかを確認します。時差が 24 時間以上の場合には、CSS は SNTP サーバとそのクロックを同期できません。CSS の時刻設定の詳細については、「[日付、時刻、および時間帯の設定](#)」を参照してください。

SNTP サーバ設定の詳細については、サーバの付属マニュアルを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [プライマリまたはセカンダリ SNTP サーバの設定](#)
- [SNTP サーバのポーリング間隔の設定](#)
- [SNTP 設定情報の表示](#)

プライマリまたはセカンダリSNTPサーバの設定

CSSでは、SNTPサーバから時刻を受信することができます。CSSでは、2つまでSNTPサーバを設定できます。プライマリサーバは、CSSで時刻を受信するメインサーバです。追加のサーバである、セカンダリサーバを設定することができます。これは、プライマリSNTPサーバが利用できなくなった場合のバックアップサーバとして機能します。

CSSでSNTPサーバから時刻を受信するには、`sntp` コマンドを使用してサーバにIPアドレスを設定してください。プライマリサーバかセカンダリサーバ、またはその両方を設定します。サーバが使用しているSNTPのバージョンを設定することもできます。このコマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
sntp primary-server | secondary-server ip_address {version number}
```

このコマンドのキーワード、オプション、および変数は次のとおりです。

- **primary-server** : プライマリSNTPサーバの指定
- **secondary-server** : セカンダリSNTPサーバの指定
- **ip_address** : SNTPサーバのIPアドレス。IPアドレスは、ドット付き10進表記(192.168.1.0など)で指定します。
- **version number** : SNTPサーバのバージョン番号(省略可)。有効な *number* の入力値は1~4です。デフォルトは1です。

たとえば、プライマリSNTPサーバの実行バージョン番号3を指定するには、次のように入力します。

```
(config)# sntp primary-server 192.168.19.21 version 3
```

プライマリSNTPサーバを削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no sntp primary-server
```

セカンダリSNTPサーバの実行バージョン番号3を指定するには、次のように入力します。

```
(config)# sntp secondary-server 192.168.19.22 version 3
```

セカンダリSNTPサーバを削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no sntp secondary-server
```

SNTP サーバのポーリング間隔の設定

SNTP サーバから時刻を取得し、CSS の現地時間をサーバ側の正確な時刻に常に一致させるためにも、継続的にポーリングを行うことが重要です。ポーリング間隔とは、SNTP サーバに SNTP 要求メッセージを送信した後、次の要求メッセージを送信するまでの間隔（秒単位）です。デフォルトでは、この間隔は 64 秒です。SNTP 要求メッセージのポーリング間隔を指定するには、次のコマンドを使用します。

```
sntp [primary-server-poll-interval | secondary-server-poll-interval] seconds
```

このコマンドのキーワードと変数は次のとおりです。

- **primary-server-poll-interval** : プライマリ SNTP サーバのポーリング間隔
- **secondary-server-poll-interval** : セカンダリ SNTP サーバのポーリング間隔
- **seconds** : SNTP サーバに SNTP 要求メッセージを送信した後、次の要求メッセージを送信するまでのポーリング間隔(秒単位)16 ~ 16284 秒の数値を入力します。デフォルト値は 64 秒です。

たとえば、プライマリ SNTP サーバに 90 秒のポーリング間隔を指定するには、次のように入力します。

```
(config)# sntp primary-server-poll-interval 90
```

プライマリ SNTP サーバのポーリング間隔をデフォルトの 64 秒にリセットするには、次のように入力します。

```
(config)# no sntp primary-server-poll-interval
```

SNTP 設定情報の表示

CSS で SNTP の設定情報を表示するには、`show sntp global` コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# show sntp global
```

表 2-3 に、`show sntp global` コマンドで表示される各フィールドと、その説明を示します。

表 2-3 show sntp global コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Server	プライマリ サーバとセカンダリ サーバのどちらに指定されているか。
Server Address	SNTP サーバの IP アドレス。プライマリ サーバとセカンダリ サーバのどちらに指定されているかも示します。
Version	SNTP サーバのバージョン番号。デフォルトは 1 です。
Poll Interval	SNTP 要求メッセージの送信間隔 (秒単位)。有効範囲は 16 ~ 16284、デフォルトは 64 です。
TimeSinceLastUpdate	サーバが最後に応答してから経過した時間 (秒単位)。
Server Status	SNTP サーバの稼働状況 (稼働または停止)。CSS が SNTP サーバとの接続に連続 3 回失敗すると、SNTP の状態は停止にマークされます。

ホスト名の設定

ホスト テーブルは、ニーモニック ホスト名を IP アドレスにスタティックにマッピングしたもので、ARP テーブルと似ています。CSS のホスト テーブルのエントリを管理するには、**host** コマンドを使用します。

このグローバル設定モード コマンドのシンタックスは次のとおりです。

```
host host_name ip_address
```

変数は次のとおりです。

- *host_name* : ホストの名前。スペースを含まない 1 ~ 16 文字のテキスト文字列を引用符で囲まずに入力します。
- *ip_address* : ホスト名に関連付けられたアドレス。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.1 など) で指定します。

ホスト テーブルにホストを追加する場合には、ホスト テーブルにすでに存在するホスト名は使用できません。現在のホスト アドレスを変更するには、ホスト名をいったん削除してから、ホスト テーブルに新しいアドレスでホスト名を再度追加します。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# host CSS11501-LML 192.168.3.6
```

ホスト テーブルから既存のホストを削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no host CSS11501-LML
```

ホスト名のリストを表示するには、次のように入力します。

```
(config)# show running-config global
```

以降の内容について

第 3 章「ドメイン ネーム サービスの設定」では、Domain Name Service (DNS; ドメイン ネーム サービス) の設定について説明します。DNS は、ホスト名 (myhost.mydomain.com など) を IP アドレスに変換する機能です。



ドメイン ネーム サービスの 設定

この章では、Domain Name Service (DNS; ドメイン ネーム サービス) の設定について説明します。DNS は、ホスト名 (myhost.mydomain.com など) を IP アドレス (192.168.11.1 など) に変換する機能です。この章の主な内容は次のとおりです。

- [プライマリ DNS サーバの指定](#)
- [DNS 解決の使用](#)
- [セカンダリ DNS サーバの指定](#)
- [DNS サフィックスの指定](#)
- [DNS サーバポートでの UDP トラフィックの指定](#)

DNS 設定を表示するには、**show running-config global** コマンドを使用します (『Cisco Content Services Switch Administration Guide』参照)。

プライマリ DNS サーバの指定

プライマリ DNS サーバを指定するには、`dns primary` コマンドを使用します。プライマリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスをドット付き 10 進表記（たとえば、192.168.11.1）で入力します。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# dns primary 192.168.11.1
```

プライマリ DNS サーバを削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no dns primary
```

DNS 解決の使用

DNS サーバに問い合わせてホスト名を解決するには、`dns resolve` コマンドを使用します。解決するホスト名は、ニーモニックのホスト名（たとえば、myhost.mydomain.com）で入力します。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# dns resolve fred.arrowpoint.com
```

セカンダリ DNS サーバの指定

プライマリ DNS サーバで障害が発生した場合は、セカンダリ DNS サーバを使用してホスト名を IP アドレスに解決します。セカンダリ DNS サーバを指定するには、`dns primary` コマンドを使用します。セカンダリ DNS サーバの IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (192.168.11.1 など) で入力します。

```
(config)# dns secondary 192.168.3.6
```

セカンダリ サーバは 2 つまで指定できます。追加のサーバを指定するたびに、`dns secondary` コマンドを繰り返し実行します。IP アドレスを入力する順序は、プライマリ DNS サーバで障害が発生した場合に使用する順序で入力します。

セカンダリ DNS サーバを削除するには、このコマンドに `no` を付けて指定します。このコマンドの後ろに削除する DNS サーバの IP アドレスを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# no dns secondary 192.168.3.6
```

DNS サフィックスの指定

DNS 機能に問い合わせるときに使用するデフォルトのサフィックスを指定するには、`dns suffix` コマンドを使用します。デフォルトのサフィックスとして、スペースを含まない 64 文字以内のテキスト文字列を引用符で囲まずに入力します。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# dns suffix arrowpoint.com
```

デフォルトの DNS サフィックスを削除するには、次のように入力します。

```
(config)# no dns suffix
```

DNS サーバポートでの UDP トラフィックの指定

デフォルトでは、CSS は FCB を使用して DNS 要求と応答にフローを設定します。ポート 53 の DNS UDP トラフィックについて、CSS が DNS 要求と応答にフロー制御ブロック (FCB) を使用するかどうかを指定するには、**dnsflow** コマンドを使用します。このコマンドには、次のオプションがあります。

- **enable** (デフォルト): このオプションは CLI から削除されました。代わりに **flow-state** コマンドを使用してください。**flow-state** コマンドの詳細については、『*Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください。
- **disable**: このオプションはお勧めできません (廃止)。このオプションは、**flow-state 53 udp flow-disable nat-enable** コマンドにマッピングされます。**flow-state** コマンドの詳細については、『*Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください。

以降の内容について

第4章「[スティッキ クッキーの設定](#)」では、クッキーを使用して CSS スティックを設定する方法について説明します。



スティッキ クッキーの設定

この章では、クッキーを使用する CSS スティッキについて説明します。

- [スティッキの概要](#)
- [クッキーによる高度なロード バランシング](#)

サービス、スティッキ パラメータとその使用方法、およびレイヤ 3、レイヤ 4、レイヤ 5 のスティッキについては、『*Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください。

スティックの概要

通常、e コマースの Web サイトを訪れた顧客は、サイト内の各所を見て回る、いわばインターネットでのウィンドウ ショッピングから始めます。アプリケーションによっては、一度サーバとの接続が確立されると、顧客をその1つのサーバに「固定」することを要求するサイトもあれば、顧客がショッピング カートを作るまでは、その要求をしないものもあります。

いずれの場合も、顧客がショッピング カートに商品を入れ始めたら、同じサーバの同じショッピング カートにすべての商品が入るように、顧客のすべての要求が同じサーバに送信されることが重要です。顧客のショッピング カートのインスタンスは、通常、特定の Web サーバに対してローカルであり、複数のサーバ間で複製されません。

CSS の「スティック」とは、セッションが終了するまで CSS によって維持される、1つのクライアントと1つのサーバ間の関連付けのことです。スティックを使用すれば、クライアントは、セッションが終了するまで同じサーバに接続されたままになるため、Web を介したトランザクションが可能になります。CSS は、使用するロード バランシング方式を決めた後に、コンテンツ ルールに応じて、クライアントを適切なサーバに「固定 (スティック)」します。

CSS は、クライアントがすでに特定のサービスに固定されていると判断すると、一致したコンテンツ ルールで指定されたロード バランシングの基準に関係なく、クライアント要求をそのサービスに送信します。クライアントが特定のサービスに固定されていないと判断すると、CSS はコンテンツ要求に通常のロード バランシングを適用します。

コンテンツを提供しているサービスは、クライアントのクッキーによって、各クライアントを一意に識別します。クッキーは、Web クライアントにデータを配信したり、クライアントに情報の保存を要求したりするために、サーバが使用する小さなデータ構造体です。一部のアプリケーションでは、クライアントとサーバ間の状態を維持するために、クライアントがサーバに情報を返すことがあります。

CSS はコンテンツへの要求を検査し、コンテンツ ルールの照合によってコンテンツが「スティック」であると判断すると、そのコンテンツ要求に存在するすべてのクッキーと URL を検査します。この情報を使用して、適切なサーバにコンテンツ要求を送ります。

クッキーによる高度なロード バランシング

同じユーザやクライアントからの追加セッションが、その最初の接続と同じサービスに送信され、通常のロード バランシングが無効になると、コンテンツ ルールは「スティック」になります。デフォルトでは、拡張バランシング方式は無効です。

advanced-balance コマンドを使用して、スティック性を持つコンテンツ ルールに、拡張ロード バランシング方式を指定します。**advanced-balance** コマンドは、オプション (**cookies**、**cookieurl**、および **url**) で指定される文字列を使用して、クライアントをサーバに固定します。文字列方式ではスティック テーブルが使用されないため、スティック テーブルの上限が使用しているアプリケーション要件に対して小さすぎる場合、このオプションは便利です。

ここでは、次の設定について説明します。

- HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づくスティック、**advance-balanced cookies** コマンドによる設定
- URL 内のクッキーに基づくスティック、**advance-balanced url** コマンドによる設定
- HTTP ヘッダーまたは URL 内のクッキーに基づくスティック、**advance-balanced cookieurl** コマンドによる設定

ArrowPoint クッキーなど、高度なロード バランシング方式の詳細については、『*Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください。

HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づくスティッキ

一意に識別できるスタティックなクッキーがサーバから返される場合は、**advanced-balance cookies** コマンドを使用します。このコマンドは、HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づいて、クライアントをサーバに固定するコンテンツ ルールを有効にします。スティッキ設定が **advanced-balance cookies** に設定されているコンテンツ ルールでは、すべてのクライアントで、ブラウザのクッキーを有効にする必要があります。

次に示す設定では、HTTP ヘッダー内の Cookie: フィールドで指定されているクッキーが、CSS によって検索されます。

1. CSS は設定されている文字列プレフィックス (クッキー名) を検索します。この例では、コンテンツ ルール内の文字列プレフィックスは MyCookie= です。
2. プレフィックスが見つかったら、続いて CSS はいずれかのサービスに設定されている、いずれか 1 つの文字列値に合致する値を検索します。たとえば、service test 1 には、文字列値として server1 が設定されています。CSS は、プレフィックスと値の検索を、ヘッダー内のクッキー フィールドの先頭から開始し、フィールドの末尾まで全体を検索します。

HTTP ヘッダーが複数のパケットに分割されている場合、CSS はデフォルトで 5 つのパケットを検索します。ただし、CSS が検索するパケット数は、最大 20 です (詳細は、グローバルの **spanning-packets** コマンドの説明を参照してください)。

3. 文字列プレフィックスが見つからないか、サービスのどの文字列値とも一致するクッキー値が見つからない場合、CSS は設定済みのバランシング方式 (デフォルトではラウンドロビン) に従って要求の負荷を均等化します。クッキーのヘッダーや指定されたクッキー文字列が見つからない場合に CSS が実行する処理については、コンテンツ ルール モードの **sticky-no-cookie-found-action** コマンドの説明を参照してください。

configure

```
!***** GLOBAL *****
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 10.86.191.174 1

!***** INTERFACE *****
interface 3/2
  bridge vlan 2
```

```
!***** CIRCUIT *****
circuit VLAN1
  description "client vlan"

  ip address 10.86.191.161 255.255.255.240

circuit VLAN2
  description "server vlan"

  ip address 10.1.1.254 255.255.0.0

!The string value configured in the service must match the value of
the cookie for a particular server.
!***** SERVICE *****
service test1
  ip address 10.1.1.1
  string server1
  active

service test2
  ip address 10.1.1.2
  string server2
  active

service test3
  ip address 10.1.1.3
  string server3
  active

service test4
  ip address 10.1.1.4
  string server4
  active

!The string prefix must match the cookie name. We recommend that you
include the '=' as part of the string prefix.
!***** OWNER *****
owner test

content stickyCookie
  advanced-balance cookies
  string prefix "MyCookie="
  add service test1
  add service test2
  add service test3
  add service test4
  port 80
  protocol tcp
active
```

URL 内のクッキーに基づくスティック

クッキーが HTTP ヘッダー内のクッキー フィールドではなく、URL に含まれる場合は、`advanced-balance url` コマンドを使用します。クライアントのアプリケーションの中には、クッキーを受け入れないものもあります。サイトがクッキーにある情報に依存している場合、管理者はサーバアプリケーションを変更して、クッキーのデータを URL のパラメータ セクションに付け加えることもありません。このパラメータは、通常、URL のメイン データ セクションの終わりの「?」の後に続きます。

この設定で CSS が実行する処理は、`advanced-balance cookies` コマンドの使用時とほぼ同じですが、URL 末尾の ? に続く部分でクッキーがチェックされます。

ここでも、コンテンツ ルール内の `advanced-balance url` を除き、「[HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づくスティック](#)」の説明と同じ設定を使用します。

```
!***** OWNER *****
owner test

content stickyCookie
  advanced-balance url
  string prefix "MyCookie="
  add service test1
  add service test2
  add service test3
  add service test4
  port 80
  protocol tcp
active
```

HTTP ヘッダーまたは URL 内のクッキーに基づくスティック

クッキーが HTTP ヘッダー内のクッキー フィールドまたは URL に指定されている可能性がある場合は、**advanced-balance cookieurl** コマンドを使用します。

この場合、CSS はまず HTTP ヘッダーのクッキー フィールド内のクッキーを検索し、クッキー フィールドが存在しなければ、URL 内のクッキーを検索します。このコマンドは、クッキーを受け付けるクライアントと、受け付けないクライアントが混在している場合に使用します。

ここでも、コンテンツ ルール内の **advanced-balance cookieurl** を除き、「[HTTP クッキーのヘッダー内に設定された文字列に基づくスティック](#)」の説明と同じ設定を使用します。

```
!***** OWNER *****
owner test

content stickyCookie
  advanced-balance cookieurl
  string prefix "MyCookie="
  add service test1
  add service test2
  add service test3
  add service test4
  port 80
  protocol tcp
active
```

以降の内容について

第5章「[CSS への CiscoView Device Manager のインストール](#)」では、ブラウザベースのグラフィカル ユーザ インターフェイスである CSS Manager をインストールする方法について説明します。CSS Manager は、スイッチおよびロードバランシングの設定作業に使用できます。



CSS への CiscoView Device Manager のインストール

CSS 用の CiscoView Device Manager (CVDM) は、ブラウザベースのグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) であり、次のような CSS の設定作業と管理作業を行うことができます。

- システム設定
- ブート設定
- SNMP
- インターフェイス
- 回線管理 (ウィザードを含む)
- 冗長性
- ロード バランシング (ウィザードを含む)
- サービス
- コンテンツ ルール

この章では、CSS に CVDM をインストールする方法、および CVDM へのアクセス方法について説明します。この章の主な内容は次のとおりです。

- [CSS への CVDM のインストール](#)
- [CSS からの CVDM の削除](#)
- [CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)
- [CSS の CVDM へのアクセス](#)

この章では、CVDM の設定方法については説明していません。CVDM にはウィザードがあり、インタラクティブに設定作業を進めることができます。各ウィンドウやステップで、定義、フィールドの値、および説明が状況依存オンラインヘルプにより提供されます。詳細については、『*User Guide for CiscoView Device Manager for the Cisco Content Services Switch (CVDM-CSS)*』を参照してください。

CLI から CSS を設定する方法については、[第 6 章「管理および設定作業と参照マニュアル」](#)に記載されている参照先をご覧ください。

CSS への CVDM のインストール

CSS に CVDM をインストールする前に、次の Cisco CCO Web サイトから Telnet または SSH バージョンの CVDM Zip ファイルを FTP サーバにダウンロードする必要があります。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/css11500-crypto>

FTP サーバの IP アドレス、ユーザ名、パスワード、および CVDM の Zip ファイルが存在するベース ディレクトリを記録します。CSS に CVDM のイメージをコピーするには、デフォルト FTP レコードとしてこれらの情報を CSS に設定する必要があります。



(注)

CSS で CVDM の SSH セッションを実行するには、セキュア管理ライセンスが必要です。

CVDM のインストールは、インストール スクリプトを使用するか、または CLI コマンドを手動で入力して行うことができます。インストール スクリプトでは次の作業が行われます。

- デフォルト FTP レコードがない場合には、FTP レコードが見つからないことが示され、FTP レコード作成のためのプロンプトが表示されます。
- インストールする CVDM Zip ファイルのバージョンを尋ねられます。
- CVDM Zip ファイルが CSS にコピーされます。
- Zip ファイルから CVDM のイメージが展開されます。

CSS ソフトウェアを手動でインストールする場合は、CLI コマンドを入力して、インストール スクリプトで実行される処理と同じ処理を行います。

CSS に CVDM をインストールするには、次の項を参照してください。

- [インストール スクリプトによる CVDM のインストール](#)
- [CLI コマンドによる CVDM のインストール](#)



(注) CSS に同時に格納できる CVDM ファイルは 1 バージョンだけです。CSS に CVDM が存在する場合に他のバージョンをインストールすると、既存の CVDM は新しいバージョンに置き換わります。

インストールされている CVDM の確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

インストールスクリプトによる CVDM のインストール

CSS の `install-gui` スクリプトでは、CVDM Zip ファイルが FTP サーバから CSS のルートディレクトリにダウンロードされ、ファイルが `/CVDM` ディレクトリに展開されて、Zip ファイルが削除されます。

インストールスクリプトでは、CVDM Zip ファイルがある FTP サーバへのデフォルト FTP レコードを設定する必要があります。CSS にデフォルト FTP レコードを設定していない場合は、FTP レコードの設定を指示されます。

`install-gui` スクリプトを使用して CVDM を CSS にインストールするには、次の手順に従います。

1. CSS にログインします。
2. SuperUser モードで、インストールスクリプトを開始します。

```
# install-gui
```

CVDM パッケージの Zip ファイルの名前を指定することもできます。指定しない場合は、5. でファイル名の入力を求められます。ファイル名は引用符で囲んで入力します。たとえば、次のように入力します。

```
# install-gui "cvdm-css-1.0.zip"
```

3. FTP サーバへのデフォルト FTP レコードが設定済みである場合は、5. に進みます。

設定していない場合は、次のメッセージが表示され、デフォルト FTP レコードを作成するかどうか尋ねられます。

```
You must create a DEFAULT_FTP record using the ftp-record command.
```

```
Example:
```

```
ftp-record DEFAULT_FTP x.x.x.x anonymous upgrade@ .
```

```
Would you like to create now? [y n q]?
```

次のいずれかを入力します。

- **y** : デフォルト FTP レコードをすぐに作成します。次のステップに進んで、レコードを設定します。
- **n** : スクリプトを終了します。

4. デフォルト FTP レコードを設定します。プロンプトで次のように入力します。

- b. CVDM パッケージが存在する FTP サーバの IP アドレスを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Enter the IP Address of host:10.86.222.3
```

- c. FTP のログイン ユーザ名を入力します。たとえば、次のように入力します。

```
anonymous  
Enter the username for Ftp login:eng
```

- d. FTP のログイン パスワードを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
upgrade@  
Enter the password for Ftp login:test
```

- e. CVDM パッケージが存在する ベース FTP ディレクトリを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Enter Base Ftp dir:/images3/ftpbase
```

入力した情報を持つ FTP レコードが表示され、この FTP レコードを作成するかどうか尋ねられます。

```
IP Address: 10.86.222.3  
Ftp Login: eng  
Ftp Passwd: test  
Base dir: /images3/ftpbase  
Create ? [y n q]?
```

- f. レコードの情報が正しい場合は、**y** を入力します。ステップ 5. に進みます。

情報が間違っている場合は、**n** を入力します。b. に示したように、IP アドレスの再入力を求められます。

5. プロンプトで、CVDM Zip ファイルの名前を入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Please Enter Version to Install:cvdm-css-1.0.zip
```

スクリプトの開始時に CVDM Zip ファイル名を指定した場合、このプロンプトは表示されません。CVDM Zip ファイルのダウンロードが開始されます。ステップ 6. は不要です。

6. Zip ファイルの名前が正しい場合は、プロンプトで **y** を入力します。

```
Upgrade to Version cvdm-css-1.0.zip [y/n/q]? y
```

CVDM Zip ファイルがダウンロードされ、展開されます。

```
Attempting ftp of cvdm.zip:
#      copy ftp DEFAULT_FTP ${new_gui_version_file} gui-image
Copying (\) 3,106,520
Completed successfully.
#
Unarchiving file now
(config-boot)#      unpack-gui ${new_gui_version_file}
...(\) extracting: c:/CVDM/home.html
|) extracting: c:/CVDM/cv/applet.html
/) extracting: c:/CVDM/cv/cvdm-cssmgr-1.0.sgz
\ ) extracting: c:/CVDM/cv/diceloder.jar
|) extracting: c:/CVDM/cv/error.html
/)creating directory: c:/CVDM/cv/images/
  extracting: c:/CVDM/cv/images/splashscreen.gif
-)creating directory: c:/CVDM/cv/

(config-boot)#

GUI install completed Successfully.
# exit script
```

Zip ファイルの名前が間違っている場合は、**n** を入力します。ステップ 5. に進みます。

CVDM のインストールはこれで完了です。インストールの確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

CSS の CVDM へのアクセスを有効にする方法については、「[CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)」を参照してください。

CLI コマンドによる CVDM のインストール

CSS の CLI コマンドを使用して、手動で CVDM をダウンロードおよびインストールすることができます。CVDM を CSS にインストールするには、次の手順に従います。

1. CSS にログインします。
2. CVDM Zip ファイルが存在する FTP サーバへのデフォルト FTP レコードを設定します。

グローバル設定モードで、**ftp-record** コマンドを使用し、FTP サーバの IP アドレス、ユーザ名、パスワード、および CVDM の Zip ファイルが存在するベースディレクトリを指定します。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# ftp-record DEFAULT_FTP 10.86.222.3 eng test
/images3/ftpbase
```

3. CVDM Zip ファイルを FTP サーバから CSS にコピーします。

SuperUser モードで、**copy ftp** コマンドを使用します。キーワード **gui-image** を指定します。たとえば、**cvdm-css-1.0.zip** という名前の CVDM Zip ファイルを CSS にコピーするには、次のように入力します。

```
# copy ftp DEFAULT_FTP cvdm-css-1.0.zip gui-image
```

4. CVDM Zip ファイルを CSS に展開します。

ブート設定モードで、**unpack-gui** コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
(config-boot)#unpack-gui cdvm-css-1.0.zip
...(\) extracting: c:/CVDM/home.html
|) extracting: c:/CVDM/cv/applet.html
/) extracting: c:/CVDM/cv/cvdm-cssmgr-1.0.sgz
\| extracting: c:/CVDM/cv/diceloader.jar
|) extracting: c:/CVDM/cv/error.html
/)creating directory: c:/CVDM/cv/images/
 extracting: c:/CVDM/cv/images/splashscreen.gif
-)creating directory: c:/CVDM/cv/
```

```
(config-boot)#
```

CVDM のインストールはこれで完了です。インストールの確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

■ CSS からの CVDM の削除

CSS の CVDM へのユーザ アクセスを有効にする方法については、「[CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)」を参照してください。

CVDM のインストールの確認

CVDM が CSS にインストールされていると、`version` および `show version` コマンドにより CVDM のバージョンが表示されます。たとえば、次のように入力します。

```
# version
.
.
CVDM Version: cvdm-css-1.0
```

CSS からの CVDM の削除

CSS にインストールされている CVDM を削除するには、ブート設定モードで `remove-gui` コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
(config-boot)# remove-gui
```

CSS の CVDM へのアクセス有効化

CSS の CVDM へのアクセスを有効にするには、グローバル設定モードで **no restrict web-mgmt** コマンドを使用します。CVDM へのアクセスはデフォルトで無効になっています。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# no restrict web-mgmt
```



CVDM にアクセスするには、仮想認証を有効にし、使用する認証方法に応じて設定する必要があります。仮想認証はデフォルトで有効にされており、ローカルの CSS データベースを使用してユーザを認証します。仮想認証を無効にしてある場合、CVDM にアクセスするには、再度有効にする必要があります。仮想認証の設定の詳細については、『*Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide*』を参照してください。

CVDM が有効になっている場合は、`running-config` に **no restrict web-mgmt** コマンドが表示されます。`running-config` を表示するには、次のように入力します。

```
# show running-config
!***** Global *****
virtual authentication
no restrict web-mgmt
```

CSS の CVDM へのアクセスを無効にするには、次のように入力します。

```
(config)# restrict web-mgmt
```



(注) インストールした CVDM のバージョンに応じて、CVDM は Telnet または SSH を使用してすべての設定変更を行います。デフォルトで、CSS は Telnet または SSH セッションへのアクセスを制限しません。ただし、これらのセッションに対するアクセスを制限するように設定した場合は、**no restrict telnet|ssh** コマンドを使用してアクセスを許可します。

CVDM の SSH バージョンをインストールした場合は、CSS で SSH を実行するためのセキュア管理ライセンスが必要です。

CSS の CVDM へのアクセス

CVDM を使用するには、管理者の権限を持つ CSS ユーザ名が必要です。CVDM は読み取り専用アクセスをサポートしていません。



(注)

1 つの CVDM セッションにつき、CSS で使用可能な 5 つの Telnet/SSH セッションのうちの 1 つが使用されます。

CSS の CVDM にアクセスするには、次の手順に従います。

1. Web ブラウザで、[アドレス] または [場所] フィールド (ブラウザにより異なります) に CSS の IP アドレスを入力します。

たとえば、次のように入力します。

```
https://161.16.2.3
```

ポート 443 を使用する HTTPS のみサポートされています。

2. 有効な CSS ユーザ名とパスワードを入力します。

[セキュリティの警告] メッセージ ボックスが表示され、保護された接続でページを表示しようとしていることが通知されます。これは、インターネット上の保護されたページに接続しようとするときに表示される Web ブラウザ標準のメッセージ ボックスです。

3. [はい] をクリックします。CVDM の認証ダイアログボックスが表示されます。
4. 認証ダイアログボックスに有効な CSS 管理ユーザ名とパスワードを入力します。

認証が成功すると、ブラウザ ウィンドウに CVDM のホーム ページが表示されます。

CVDM のウィザード、各ウィンドウまたはステップの定義、フィールドの値、および説明については、『*User Guide for CiscoView Device Manager for the Cisco Content Services Switch (CVDM-CSS)*』を参照してください。

以降の内容について

第 6 章「[管理および設定作業と参照マニュアル](#)」では、CSS の管理作業と設定作業が説明されているマニュアルと章、および CSS の管理と設定に関する各マニュアル、およびユーザマニュアルの各章の概要を示します。



管理および設定作業と参照 マニュアル

この章では、CSS の管理および設定作業に関する参照マニュアルを示します。この章の主な内容は次のとおりです。

- [CSS の作業と参照先のリスト](#)：管理と設定の各作業を列挙し、手引きとなるマニュアルと章のタイトルを紹介します。
- [CSS マニュアルの詳細リスト](#)：CSS の管理、設定、およびユーザマニュアルの概要を紹介します。

CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 では、管理と設定の各作業を列挙し、手引きとなるマニュアルと章のタイトルを紹介し、より簡潔なトピックのリストについては、各マニュアルの索引を参照してください。

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先

作業	参照先
絶対負荷設定とクイック スタート	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
ACA ロード バランシング アルゴリズムの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
ドメイン アクセラレーションの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」
クイック スタートによる Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) の設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
FTP アクセス、オンデマンド コンテンツ レプリケーション、およびパブリッシングとサブスクライピング	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
CSS へのアクセスの設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
CiscoView Device Manager へのアクセスの設定	CSS 使用する前に 第 5 章 「CSS への CiscoView Device Manager のインストール」
ソース グループを含む ACL の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
クイック スタートによる Adaptive Session Redundancy (ASR; 適応型セッションの冗長性) の設定と show コマンド	CSS Redundancy Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Adaptive Session Redundancy」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
クイック スタートによる Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 4 章 「Configuring the Address Resolution Protocol」
ArrowPoint Distribution Image (ADI) のインストールと CSS ディスクからの削除	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
管理者による CSS へのアクセスの設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
管理者のユーザ名とパスワードの設定	CSS Administration Guide 付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」
管理者のユーザ名とパスワードの設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
スティッキ コンテンツ用の高度なロードバランシング方式の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
CSS での RIP を介したルートのアドバタイズの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Routing Information Protocol」
Application Peering Protocol (APP) の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
Application Peering Protocol-User Datagram Protocol (APP-UDP) の設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Network Proximity」
アプリケーション タイプの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
アーカイブ ファイルの設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
クイック スタートによるアドレス解決プロトコル (ARP) の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 4 章 「Configuring the Address Resolution Protocol」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ArrowPoint Content Awareness(ACA)ロード バランシング アルゴリズムの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
ArrowPoint クッキーの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
クイック スタートによる ASR の設定と show コマンド	CSS Redundancy Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Adaptive Session Redundancy」
バックエンド SSL の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Back-End SSL」
クイック スタートによるバックエンド SSL プロキシリストの設定	CSS SSL Configuration Guide 第 2 章 「SSL Configuration Quick Starts」
バックアップ CSS の一時的なマスター設 定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
ログイン バナーの設定	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」
ブート設定	CSS Administration Guide 付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」
クイック スタートによるブート設定と show コマンド	CSS Administration Guide 第 2 章 「Specifying the CSS Boot Configuration」
ボックスツーボックス冗長性の設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
BPDU 保護の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
VLAN 回線とのブリッジ インターフェイ スの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
キャッシュのバイパス設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章 「Configuring Caching」
キャッシュのコンテンツ ルールのバイパス設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Services」
サーバ認証用の CA 証明書の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 6 章 「Configuring SSL Initiation」
ケーブル冗長 CSS の設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
クイック スタートによるキャッシュ設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章 「Configuring Caching」
クイック スタートによる CDP 設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 7 章 「Configuring the Cisco Discovery Protocol」
証明書とキー (SSL) の設定および検証	CSS SSL Configuration Guide 第 3 章 「Configuring SSL Certificates and Keys」
回線の Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) 設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
CiscoView Device Manager (CVDM)	CSS 使用する前に 第 5 章 「CSS への CiscoView Device Manager のインストール」
クイック スタートによる Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル) の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 7 章 「Configuring the Cisco Discovery Protocol」
CLI プロンプトの設定	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
クライアント認証の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
クライアントの証明書とキーの設定	CSS SSL Configuration Guide 第 6 章 「Configuring SSL Initiation」
クイック スタートによる Client-Side Accelerator (CSA; クライアント側アクセラレータ) の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」
コマンド履歴バッファの設定	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」
コマンド スケジューラの設定	CSS Administration Guide 第 8 章 「Using the CSS Scripting Language」
圧縮、HTTP 応答データ	CSS SSL Configuration Guide 第 9 章 「Configuring HTTP Compression」
設定の変更 (保存して以降の CSS のリブートで使用)	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
設定の同期設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
サービス間での一貫した重みの範囲 (Dynamic Feedback Protocol (DFP)) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 8 章 「Configuring Dynamic Feedback Protocol for Server Load Balancing」
コンソール認証の設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
コンテンツ API の設定	CSS Administration Guide 第 7 章 「Using an XML Document to Configure the CSS」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
クイック スタートによる Content Routing Agent (CRA; コンテンツ ルーティング エージェント) の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring a CSS as a Content Routing Agent」
コンテンツ ルールの概要	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
コンテンツ ルールベースの Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) のクイック スタートによる設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
クイック スタートによるコンテンツ ルールの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
クイック スタートによるコンテンツのステージングおよびレプリケーションの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
高度なロード バランシング用のクッキーの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
FTP サーバからのファイル コピーの設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
コア ダンプの設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
クイック スタートによる CRA の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring a CSS as a Content Routing Agent」
クイック スタートによるクリティカル phy の設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 1 章 「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」
クリティカル サービスの設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
CRL レコードの show コマンド	CSS SSL Configuration Guide 第 7 章 「Displaying SSL Configuration Information and Statistics」
ボックスツーマックス冗長用のクロスケーブルのピン配置	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
クイック スタートによる CSA の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」
クロックの設定	CSS 使用する前に 第 2 章 「CSS の基本事項の設定」
夏時間	CSS 使用する前に 第 2 章 「CSS の基本事項の設定」
クイック スタートによるオンデマンドコンテンツ レプリケーションの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
SNMP を使用した Denial of Service (DoS; サービス拒絶) の設定	CSS Administration Guide 第 5 章 「Configuring Simple Network Management Protocol (SNMP)」
ソース グループの宛先サービスの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
DFP エージェントの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 8 章 「Configuring Dynamic Feedback Protocol for Server Load Balancing」
クイック スタートによる Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) リレー エージェントの設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 8 章 「Configuring the DHCP Relay Agent」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ディスクの設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
	CSS Administration Guide 付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」
コンテンツ ルールベースからゾーンベースへの DNS 設定の変換	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring the DNS Sticky Feature」
DNS レコードを含む DNS ピアリングと DNS サーバの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
DNS サーバ フォワーダ	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」
クイック スタートによる DNS スティックの設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring the DNS Sticky Feature」
DNS ベースのコンテンツ ルールの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
ドメイン キャッシュの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」
ドメイン名コンテンツ ルール	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
ドメイン ネーム システム (DNS) のスティック機能 (「DNS スティック」参照)	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring the DNS Sticky Feature」
domain qualifier list (DQL; ドメイン修飾子リスト) と virtual web hosting (VWH; 仮想 Web ホスティング) (クイック スタートを含む)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ドメイン レコードの設定と DNS サーバ	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
ドメイン レコードの設定とネットワーク プロキシミティ	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章「Configuring Network Proximity」
ダブルワイルドカード キャッシング ルールの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章「Configuring Caching」
DQL の設定 (クイック スタートを含む)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章「Configuring Content Rules」
Dynamic Feedback Protocol (DFP) エージェント の設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 8 章「Configuring Dynamic Feedback Protocol for Server Load Balancing」
ECMP の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章「Configuring the Internet Protocol」
e コマースのスティッキ設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
イーサネット管理ポートの設定	CSS 使用する前に 第 2 章「CSS の基本事項の設定」
イーサネット インターフェイスの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章「Configuring Interfaces and Circuits」
エキスパート モードの設定	CSS Administration Guide 第 3 章「Configuring User Profiles」
extension qualifier list (EQL; 拡張子修飾子 リスト) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章「Configuring Content Rules」
フェールオーバー処理の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章「Configuring Content Rules」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ファイル保管場所の設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
ファイアウォール IP ルートの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
Firewall Load Balancing (FWLB; ファイアウォールロードバランシング)の設定と show コマンド	CSS Security Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Firewall Load Balancing」
フローおよびポートのマッピング設定 (無活動タイムアウト、flow-state テーブルを含む) と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
CSS 上のフローの概要	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
IP サブネット ブロードキャスト アドレス宛てフレームの転送設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
断片化 IP パケットのフロー処理の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
オンデマンド コンテンツ レプリケーションおよびパブリッシュとサブスクライブ用の FTP アクセス	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
ソースグループ経由の FTP 接続の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
FTP レコードの設定	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
FTP 予約制御ポートの予約解除設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
VIP および仮想インターフェイスを冗長化した FWLB の設定	CSS Security Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Firewall Load Balancing」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
クイック スタートによるグローバルキーブアライブの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」
グローバル サービス負荷の show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
クイック スタートによるグローバルスティッキー データベースの設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring the DNS Sticky Feature」
過負荷サービスのグレースフルシャットダウンの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Services」
コンテンツ ルールのハッシュ アルゴリズムの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
クイック スタートによるヘッダー フィールド グループの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 12 章 「Configuring HTTP Header Load Balancing」
ホット リストの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
HTTP 圧縮	CSS SSL Configuration Guide 第 9 章 「Configuring HTTP Compression」
HTTP 暗号化キーブアライブ	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」 CSS SSL Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Back-End SSL」
HTTP 方式の解析	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
ホット リストの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
HTTP リダイレクションの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
スタティック ルートのネクストホップへの暗黙的サービスの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
インターフェイス設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
クイック スタートによる Internet Protocol (IP; インターネット プロトコル) の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
Inter-Switch Communications (ISC) 冗長サービスの設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Adaptive Session Redundancy」
IP equal-cost multipath (ECMP; 等価コストマルチパス) 選択アルゴリズムと優先逆方向出力パスの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
IP フラグメンテーションの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
IP ソース、スタティック、およびレコード ルートの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
kal-ap-vip クライアントおよびエージェントの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」
キーブアライブの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」
絶対負荷と相対負荷の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
コンテンツ ルールのロード バランシング アルゴリズムの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ロケーション クッキーの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
ロギング設定と show コマンド	CSS Administration Guide 第 4 章 「Using the CSS Logging Features」
TCP データの maximum segment size (MSS; 最大セグメント サイズ) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
MIB の概要	CSS Administration Guide 第 5 章 「Configuring Simple Network Management Protocol (SNMP)」
MIB の更新	CSS Administration Guide 付録 A 「Upgrading Your CSS Software」
クイックスタートによる Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) ピアリングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章 「Configuring Caching」
透過キャッシュ サービス タイプのネットワーク アドレス変換 (NAT) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Services」
ネットワーク アドレス変換 (NAT) ソースグループの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
ネットワーク ブート ドライブの設定	CSS Administration Guide 第 2 章 「Specifying the CSS Boot Configuration」
ネットワーク プロキシミティの設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Network Proximity」
ACL 用の Network Qualifier List (NQL; ネットワーク修飾子リスト) の設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
noflow ポート マッピングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
Offline Diagnostic Monitor メニュー	CSS Administration Guide 付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」
レイヤ 3 の低コスト転送の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
クイック スタートによる OSPF の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Open Shortest Path First (OSPF)」
所有者の設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 9 章 「Configuring Owners」
所有者の概要	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
パッシブ SCM の設定	CSS Administration Guide 第 2 章 「Specifying the CSS Boot Configuration」
TCP および UDP の固定ポート接続の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
持続性	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
物理リンク設定リスト	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
Port Fast の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
ポート マッピングの設定 (ソース グループ)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ポート マッピングの設定と show コマンド (グローバルと noflow)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
プライマリ ブート レコードの設定	CSS Administration Guide 第 2 章 「Specifying the CSS Boot Configuration」
プライマリ ソーリー サーバの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
SSL モジュールによる SSL フローの処理の例	CSS SSL Configuration Guide 第 8 章 「Examples of CSS SSL Configurations」
Proximity domain name server (PDNS; プロキシミティ ドメイン ネーム サーバ) の設定と show コマンド	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Network Proximity」
プロキシ キャッシュの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章 「Configuring Caching」
パブリッシュ / サブスクライブ サービスの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
パブリッシュ サービス (FTP アクセス方式とサービスの関連付け)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Services」
クイックスタートによる RADIUS の設定 (認証と許可を含む)	CSS Security Configuration Guide 第 3 章 「Configuring the CSS as a Client of a RADIUS Server」
CSS のリポート	CSS Administration Guide 付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」
Telnet と FTP の予約ポートの予約解除設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
コンテンツのリダイレクション要求の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
冗長設定 (ASR)	CSS Redundancy Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Adaptive Session Redundancy」
冗長設定 (ボックスツーマックス)	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
冗長設定 (VIP と仮想インターフェイス)	CSS Redundancy Configuration Guide 第 1 章 「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」
クイック スタートによる相対負荷設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
再マッピングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
CSS へのリモートユーザアクセス (仮想認証とコンソール認証を含む)	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
クイック スタートによるレプリケーションとステージングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
レポーター モードの設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 1 章 「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」
インターネットを使用したソース グループ経由のドメイン名解決の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
アーカイブ ファイルの復元	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
CiscoView Device Manager へのアクセス制限	CSS 使用する前に 第 5 章 「CSS への CiscoView Device Manager のインストール」
逆プロキシ キャッシングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 13 章 「Configuring Caching」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
IP インターフェイスの RIP の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
クイック スタートによる RMON の設定と show コマンド	CSS Administration Guide 第 6 章 「Configuring Remote Monitoring (RMON)」
Router-Discovery Protocol (RDP; ルータ検出プロトコル) の設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
クイック スタートによる Routing Information Protocol (RIP; ルーティング情報プロトコル) の設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 5 章 「Configuring Routing Information Protocol」
RSA 証明書とキーの生成およびインポートのクイック スタート	CSS SSL Configuration Guide 第 2 章 「SSL Configuration Quick Starts」
SASP の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 7 章 「Configuring Server/Application State Protocol for Server Load Balancing」
設定変更の保存 (CSS の以降のリポートで使用)	CSS Administration Guide 第 1 章 「Managing the Software」
スクリプト キープアライブの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」
スクリプトの設定と show コマンド	CSS Administration Guide 第 8 章 「Using the CSS Scripting Language」
セキュア URL リライトの設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
Server/Application State Protocol (SASP) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 7 章 「Configuring Server/Application State Protocol for Server Load Balancing」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
スティッキー用のサーバダウン フェールオーバーの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
クイック スタートによるサービス設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Services」
CSS ping 応答決定に含まれるサービスの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
サービス キープアライブの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 4 章 「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」
サービス負荷の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 6 章 「Configuring Loads for Services」
サービスの概要	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
サービスのリダイレクション設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
サービス ソース グループの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
コンテンツ ルールを介したサービスの重み設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
セッション設定 (グローバル)	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」
Session Initiation Protocol (SIP) ロード バランシングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
インターフェイスの遮断	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
クイック スタートによる SIP 設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
サイト証明書の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 3 章 「Configuring SSL Certificates and Keys」
SNMP の設定	CSS Administration Guide 第 5 章 「Configuring Simple Network Management Protocol (SNMP)」
SNTP の設定	CSS 使用する前に 第 2 章 「CSS の基本事項の設定」
プライマリおよびセカンダリのソーリーサーバの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
クイック スタートによるソース グループの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 5 章 「Source Groups for Services」
コンテンツ ルールの分割パケットの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
スパニングツリー ブリッジの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
クイック スタートによる CSS のスパニングツリー ブリッジの設定と show コマンド	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Spanning-Tree Bridging for the CSS」
SSH 設定と show コマンド	CSS Security Configuration Guide 第 2 章 「Configuring the Secure Shell Daemon Protocol」
SSL 証明書とキーの設定	CSS SSL Configuration Guide 第 3 章 「Configuring SSL Certificates and Keys」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
SSL クライアント認証の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
SSL フローの show コマンド	CSS SSL Configuration Guide 第 7 章 「Displaying SSL Configuration Information and Statistics」
SSL の完全なプロキシ設定の例	CSS SSL Configuration Guide 第 8 章 「Examples of CSS SSL Configurations」
SSL HTTP ヘッダー挿入の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
SSL 開始設定	CSS SSL Configuration Guide 第 6 章 「Configuring SSL Initiation」
SSL 開始設定の例	CSS SSL Configuration Guide 第 8 章 「Examples of CSS SSL Configurations」
SSL 開始プロキシ リストのクイック スタート	CSS SSL Configuration Guide 第 2 章 「SSL Configuration Quick Starts」
SSL プロキシ設定の show コマンド	CSS SSL Configuration Guide 第 7 章 「Displaying SSL Configuration Information and Statistics」
SSL 終了の設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
SSL 終了のクイック スタート	CSS SSL Configuration Guide 第 2 章 「SSL Configuration Quick Starts」
1 つまたは 2 つの SSL モジュール、あるいは HTTP サーバとバックエンド SSL サーバを使った SSL 透過プロキシ設定の例	CSS SSL Configuration Guide 第 8 章 「Examples of CSS SSL Configurations」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
SSL の強制シャットダウン (Close Notify アラートを無効化)	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
SSL URL リライトおよび SSL モジュール統計の show コマンド	CSS SSL Configuration Guide 第 7 章 「Displaying SSL Configuration Information and Statistics」
SSL の概要	CSS SSL Configuration Guide 第 1 章 「Overview of CSS SSL」
SSL レイヤ 4 フォールバックの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
ステートレス冗長フェールオーバーの設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
スティッキの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
加入者サービスの設定と show コマンド	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 14 章 「Configuring Content Replication」
交換ポート アナライザの機能	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
冗長性設定の同期	CSS Redundancy Configuration Guide 第 3 章 「Configuring Box-to-Box Redundancy」
TACACS+ の設定 (認証と許可、クイックスタート、show コマンドを含む)	CSS Security Configuration Guide 第 4 章 「Configuring the CSS as a Client of a TACACS+ Server」
CSS による TCP/UDP トラフィック処理の概要 (3 ウェイハンドシェイク)	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
TCP フロー リセットの拒否設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
VIP が利用不能な場合の TCP リセット設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 2 章 「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」
Telnet アクセスの設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
端末の設定	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」
トラップの設定とログ	CSS Administration Guide 第 5 章 「Configuring Simple Network Management Protocol (SNMP)」
SSL 開始のトラブルシューティング	CSS SSL Configuration Guide 第 6 章 「Configuring SSL Initiation」
CSS による UDP トラフィック処理の概要	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Content Load-Balancing Overview」
無条件ブリッジの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 6 章 「Configuring the Internet Protocol」
コンテンツ ルールの Uniform Resource Locator (URL) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
クイック スタートによる Uniform Resource Locator Qualifier List (URQL; URL 修飾子リスト) の設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
CSS ソフトウェアのアップグレード	CSS Administration Guide 付録 A 「Upgrading Your CSS Software」
クイック スタートによるユーザ プロファイルの設定	CSS Administration Guide 第 3 章 「Configuring User Profiles」

■ CSS の作業と参照先のリスト

表 6-1 管理、設定の各作業と参照先 (続き)

作業	参照先
ユーザ名とパスワードの設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
クイック スタートによる VIP と仮想インターフェイスの冗長設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 1 章 「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」
仮想認証の設定	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
SSL 終了用の仮想 SSL サーバの設定	CSS SSL Configuration Guide 第 4 章 「Configuring SSL Termination」
仮想 Web ホスティングの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 10 章 「Configuring Content Rules」
VLAN トランキングの設定	CSS Routing and Bridging Configuration Guide 第 1 章 「Configuring Interfaces and Circuits」
VRID ピアリングの設定	CSS Redundancy Configuration Guide 第 1 章 「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」
e コマース アプリケーションの無線ユーザの設定	CSS Content Load-Balancing Configuration Guide 第 11 章 「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」
XML による CSS へのアクセス	CSS Security Configuration Guide 第 1 章 「Controlling CSS Access」
XML の設定	CSS Administration Guide 第 7 章 「Using an XML Document to Configure the CSS」
クイック スタートによる CSS でのゾーンベース DNS の設定	CSS Global Server Load-Balancing Configuration Guide 第 1 章 「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」

CSS マニュアルの詳細リスト

ここでは、次の各 CSS マニュアルの記載情報を示します。

- [Cisco Content Services Switch Administration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch Redundancy Configuration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide](#)
- [Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide](#)

CSS の CLI コマンドについては、『*Cisco Content Services Switch Command Reference*』を参照してください。すべての CLI コマンドが、シンタックス、オプション、および関連コマンドとともに、アルファベット順で一覧されています。

Cisco Content Services Switch Administration Guide

CSS ソフトウェアの管理やアップグレードなど、CSS の管理作業の実行方法について説明しています。表 6-2 に、このマニュアル内のすべての章と付録を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-2 Cisco Content Services Switch Administration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Managing the Software」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS システム ソフトウェアの概要 • CSS から FTP サーバにアクセスするための FTP レコードの作成、および FTP サーバからファイルをコピーする方法 • 設定変更の保存（CSS の以降のリブートで使用） • 2 台のディスクを備えた CSS 11500 シリーズでのファイルの格納先の設定。この作業には、ディスクのフォーマット、ブートディスクの選択、ログ ファイルとコア ダンプの保存先の指定、およびディスク間でのファイルのコピーが含まれます。 • ArrowPoint Distribution Image (ADI) のインストールと CSS ディスクからの削除 • CSS アーカイブ ディレクトリへのファイルの保管と、アーカイブからのファイルの復元 • コア ダンプの有効化と処理 • CSS のシステム情報の表示
第 2 章「Specifying the CSS Boot Configuration」	<ul style="list-style-type: none"> • ブート設定のクイック スタート • ブート設定モードとそのコマンドへのアクセス • CSS がブート イメージにアクセスするときに、最初にチェックされる場所（プライマリ ロケーション）の設定 • プライマリ ブート設定でブートできない場合に、CSS がブート イメージのアクセス先として次にチェックする場所（セカンダリ ロケーション）の設定 • CSS 11506 シャーシ内に装着されているパッシブ SCM のブート設定レコードの各コンポーネントの個別設定（パッシブ モジュールは、アクティブ モジュールに障害が起きた場合のスタンバイ モジュール） • ネットワーク ドライブからの CSS のブート • ブート設定の表示

表 6-2 Cisco Content Services Switch Administration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第3章「Configuring User Profiles」	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザプロファイルの概要 • ユーザプロファイル設定のクイック スタート • システム端末画面への出力の制御設定。セッションがアイドル状態のまま存在しうる最長時間（この時間が経過したセッションは CSS によって終了される）CLI に一度に表示される出力行の数、端末画面の最下部の --More-- プロンプト、CSS によるサブネット マスクの表示方法、セッションがログイン状態のまま存在しうる最長時間（この時間が経過したセッションは CSS によって終了される）などを設定します。 • コンソール、Telnet、SSH、または FTP のセッションが 1 つ以上、アクティブな状態のまま存在しうる合計時間（この時間が経過すると、該当する種類の全セッションが CSS によって終了される） • エキスパートモードの設定による CSS 確認機能のオン / オフの切り替え • CLI プロンプトの変更 • 最近実行した CLI コマンドが格納される履歴バッファのサイズの変更 • CSS へのログイン時に表示されるバナーの設定 • CSS からデフォルトプロファイル ファイル、FTP サーバ、TFTP サーバ、またはユーザプロファイル ファイルへの実行プロファイルのコピー
第4章「Using the CSS Logging Features」	<ul style="list-style-type: none"> • ログの有効化 • ログ バッファの設定 • 活動情報の送信タイミングの決定 • ログ メッセージの表示と解釈
第5章「Configuring Simple Network Management Protocol (SNMP)」	<ul style="list-style-type: none"> • SNMP と MIB の概要 • CSS での SNMP の設定 • SNMP エージェントとしての CSS の定義（クイック スタートを含む） • システムへの DoS 攻撃をトラップ ホストに通知する、特殊なエンタープライズトラップの設定（クイック スタートを含む） • CSS での SNMP の管理 • SNMP トラップと MIB オブジェクトのリスト

表 6-2 Cisco Content Services Switch Administration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 6 章「Configuring Remote Monitoring (RMON)」	<ul style="list-style-type: none"> クイック スタートによる RMOM のイベント、アラーム、および履歴の設定 RMON の統計、履歴データ、およびアラーム イベント通知の表示
第 7 章「Using an XML Document to Configure the CSS」	<ul style="list-style-type: none"> XML コードの作成 XML 設定ファイルの CSS への転送許可 XML コードの解析 XML コードの CSS への送信 XML コードの出力の確認
第 8 章「Using the CSS Scripting Language」	<ul style="list-style-type: none"> スクリプトの実行 コマンド スケジューラによる CLI コマンド(スクリプトを含む)の実行スケジュールの設定 echo コマンドによるスクリプト実行中の画面表示の制御 コメント行によるスクリプトへの説明の追加 変数を使ったコマンド、コマンドの別名、およびスクリプトの作成 論理 / 関係演算子と分岐コマンド 配列によるメモリ空間内でのサブ値(要素)の保持 ユーザ入力の変数への格納 コマンドラインの引数によるスクリプトの入力データ(引用符で囲まれた文字列)の指定 関数によるスクリプトのサブルーチンやモジュールへの構造化 grep コマンドによる特定データの検索 socket コマンドによる ASCII コードまたは 16 進数でのデータ送受信 スクリプト例
付録 A「Upgrading Your CSS Software」	<ul style="list-style-type: none"> 新しい CSS ソフトウェアのダウンロードと FTP サーバ レコードの作成 アップグレード スクリプトによる CSS ソフトウェアの自動(または対話的な)アップグレード CLI コマンドによる CSS ソフトウェアの手動アップグレード MIB の更新

表 6-2 Cisco Content Services Switch Administration Guide (続き)

章	内容 / 作業
付録 B 「Using the Offline Diagnostic Monitor Menu」	<ul style="list-style-type: none">• ブート設定<ul style="list-style-type: none">- CSS がブート イメージにアクセスする場所 (プライマリおよびセカンダリ) の設定- CSS の IP アドレスの設定- サブネット マスクの設定- デフォルト ゲートウェイの設定• ブート設定の表示• 次の高度なオプションの選択<ul style="list-style-type: none">- ディスクからのソフトウェア バージョンの削除- Offline DM のメイン メニューのパスワードの設定- 管理者のユーザ名とパスワードの設定- ディスクの再フォーマットとチェック ディスクの実行- ディスクの設定• CSS のリポート

Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide

このマニュアルは、CSS でルーティングおよびブリッジングを設定する作業について説明しています。表 6-3 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-3 Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Configuring Interfaces and Circuits」	<ul style="list-style-type: none"> • インターフェイスと回線の概要 • インターフェイスと仮想 LAN (VLAN) 回線のクイック スタート • イーサネット インターフェイスの設定 (最大アイドル時間の設定、VLAN 回線へのブリッジ、VLAN トランキングの指定、スパンニングツリー ブリッジと Port Fast の設定、インターフェイス設定の表示、インターフェイスの遮断) • VLAN 回線の設定 (回線 IP インターフェイスの設定、回線のルータ 検出プロトコルの設定、回線および IP インターフェイスの情報の表示) • IP インターフェイスの RIP の設定 (デフォルト ルート、受信バージョンと送信バージョン、パケットのログ、設定の表示) • Switched Port Analyzer (SPAN; 交換ポート アナライザ) の設定。SPAN を設定すると、CSS モジュールの 1 つのポート (ファースト イーサネットまたはギガビットイーサネット) を通過するトラフィックを、同じモジュールにある種類が同じ別の指定ポートに、分析のためミラーリング (コピー) できます。設定の検証方法も示されています。
第 2 章「Configuring Spanning-Tree Bridging for the CSS」	<ul style="list-style-type: none"> • Spanning-tree protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) のクイック スタート • 経過時間、転送および Hello 時間、優先度、および最大経過時間の設定 • スパニングツリーの無効化 • ブリッジ設定の表示

表 6-3 Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 3 章 「Configuring Open Shortest Path First (OSPF)」	<ul style="list-style-type: none">• OSPF の概要• OSPF の設定のクイック スタート• CSS での OSPF の設定• CSS IP インターフェイスでの OSPF の設定• OSPF 情報の表示
第 4 章 「Configuring the Address Resolution Protocol」	<ul style="list-style-type: none">• ARP の設定のクイック スタート• ARP のタイムアウトと待機期間の設定• ARP パラメータの更新と消去• ARP 情報の表示
第 5 章 「Configuring Routing Information Protocol」	<ul style="list-style-type: none">• RIP の設定のクイック スタート• CSS の RIP を介したルートのアドバタイズ• 他のプロトコルから RIP を介したルートのアドバタイズ• RIP でルーティング テーブルに挿入できる最大ルート数の設定• RIP 設定の表示

表 6-3 Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第6章「Configuring the Internet Protocol」	<ul style="list-style-type: none"> • IP の設定のクイック スタート • IP ルートの設定。スタティック ルート、デフォルトのスタティック IP ルート、ブラックホールルート(このルート宛ての packets はすべて廃棄される)、またはファイアウォール IP ルートを設定できます。 • スタティック ルートのネクストホップの暗黙的サービスの無効化。暗黙的サービスを無効化すると、ネクストホップが利用できない場合も、ネクストホップにトラフィックが転送されます。 • IP ソース ルートの設定。この設定によって、デフォルトルーティングを無効にする情報を含むフレームを、CSS で処理できるようになります。 • IP レコード ルートの設定。この設定によって、経路上の各ルータの IP アドレスを含むフレームを、CSS で処理できるようになります。 • ボックスツーマルチキャスト冗長性の設定。同一の設定を持つ 2 台の CSS 間に設定します。 • IP ECMP 選択アルゴリズムと優先逆方向出力パスの設定 • IP サブネット ブロードキャスト アドレス宛てフレームの転送 • IP 無条件ブリッジの設定。この設定によって、受信パケットは常にブリッジングされるようになります。 • レイヤ 3 の IP 低コスト転送の設定。この設定によってレイヤ 3 の低コスト転送が有効になり、送信先 MAC アドレスが CSS のアドレスに該当しないレイヤ 2 パケットも、CSS でレイヤ 3 転送できるようになります。 • IP 設定情報の表示

表 6-3 Cisco Content Services Switch Routing and Bridging Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 7 章「Configuring the Cisco Discovery Protocol」	<ul style="list-style-type: none">• CDP の設定のクイック スタート• CDP の有効化• CSS から着信した CDP 情報を受信装置が廃棄するまでの時間(存続可能時間情報) の設定• 転送レート (CSS から CDP 互換のすべての受信装置へ CDP パケットを送信する間隔) の設定• CDP 情報の表示
第 8 章「Configuring the DHCP Relay Agent」	<ul style="list-style-type: none">• DHCP の設定のクイック スタート• 回線への DHCP 宛先アドレスの追加。この設定によって、CSS から最初に着信した DHCP ブロードキャスト要求が、設定した各宛先アドレスに送信されるようになります。• 回線での DHCP の有効化と無効化• DHCP メッセージ転送用のホップ フィールド値の定義• DHCP リレー設定の表示

Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide

このマニュアルは、CSS でコンテンツ ロード バランシングを設定する方法について説明しています。コンテンツ ロード バランシングの設定作業には、キープ アライブ、ソース グループ、負荷、DFP、コンテンツ ルール、およびコンテンツ レプリケーションの設定が含まれます。表 6-4 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Content Load-Balancing Overview」	<ul style="list-style-type: none"> CSS によるロード バランシングで実行される処理について、サービス、所有者、およびコンテンツ ルールの関係に関する情報を通じて説明します。CSS での TCP トラフィックと UDP トラフィックの扱いについても説明しています。
第 2 章「Configuring Flow and Port Mapping Parameters」	<ul style="list-style-type: none"> TCP と UDP の固定ポートを作成するためのフロー パラメータの設定、Telnet と FTP の予約制御ポートを予約解除するために、CSS がこれらのポート経由で搬入されるフローをスキャンする頻度の設定、最大セグメント サイズ (MSS) の変更、および現在割り当てられているフローの統計情報の表示 コンテンツ ルールとソース グループへのフロー無活動タイムアウトの設定、およびタイムアウト統計の表示 断片化した IP パケットに対するフロー処理の設定 (この設定によって、フロー パスでの IP フラグメントを CSS で処理することが可能になる) フラグメントの最大/最小サイズの設定、および IP フラグメントの統計情報の表示とリセット VIP を利用できないときに CSS に TCP Reset を送信させる設定 フロー特性と TCP/UDP ポートの Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) 状態を変更するための flow-state テーブルの設定、および flow-state テーブルの表示 CSS ポート マッピングの設定、およびポート マッピング統計情報の表示。CSS ポート マッピングは、TCP および UDP のソース ポートの port address translation (PAT; ポート アドレス変換) で CSS によって使用されるポート番号の範囲をグローバルに制御します。

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 3 章「Configuring Services」	<ul style="list-style-type: none"> • サービス設定のクイック スタート • IP アドレス、ポート、プロトコル、ドメイン名、HTTP のリダイレクト文字列とクッキー、重みを付与するサービスのタイプ、アクセス、および TCP 接続の最大数の設定 • FTP アクセス方式とサービスの関連付け (サービスがパブリッシング サービスを提供している場合) • キャッシュ上のコンテンツ ルールのバイパス。プロキシや透過キャッシュ タイプのサービスから着信した要求に対して、CSS がコンテンツルールを適用しないようにします。 • 透過キャッシュ タイプのサービスに対する宛先 NAT の有効化 • キャッシュ ファームをバイパスして、元のサーバと接続の確立し、キャッシュに格納できないコンテンツを取り込むための設定 • サービスの有効化と一時停止 • サービス情報の表示、および統計情報の消去
第 4 章「Configuring Service, Global, and Script Keepalives」	<ul style="list-style-type: none"> • キープアライブの概要 • サービス キープアライブの設定 • グローバル キープアライブの設定とクイック スタート • サービスとグローバル キープアライブのキープアライブ アトリビュートの設定。キープアライブ アトリビュートには、頻度、再試行間隔、最大エラー数、タイプ、猶予付きでソケットを閉じる TCP キープアライブ、ポート番号、方式、HTTP 応答コード、URI、およびハッシュ値が含まれます。 • キープアライブ情報の表示 • サービスでのスクリプト キープアライブの使用

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 5 章 「 Source Groups for Services 」	<ul style="list-style-type: none"> • ソース グループとポート マッピングの概要 • ソース グループ設定のクイック スタート • VIP アドレス、サービス、および宛先サービスの設定 • ソース グループの有効化と一時停止 • ポート マッピングの設定 (開始ポート、ポートマップ範囲内のポート数、VIP アドレス範囲) およびポート マッピングの無効化 • ACL によるソース グループの設定。この設定は FTP 接続に使用されるほか、すべてのサーバがインターネットを使用してドメイン名を解決できるようにします。 • ソース グループ情報の表示とカウンタのクリア
第 6 章 「 Configuring Loads for Services 」	<ul style="list-style-type: none"> • サービス負荷の概要 • 相対負荷設定のクイック スタート • 相対負荷の設定。グローバル負荷通知、負荷ステップ、負荷のしきい値、およびティアダウン タイマーとエージアウト タイマーを設定します。 • グローバル サービス負荷の表示 • 絶対負荷設定のクイック スタート • 絶対負荷の計算方式の設定。絶対負荷スケールの変更と最適化、および負荷変動の設定を行います。 • 相対負荷の統計情報および絶対負荷の計算範囲の表示 • ACA ロード バランシング アルゴリズムの使用。このアルゴリズムは、サーバグループ間のトラフィックの負荷を、負荷と重みに基づいて調整します。
第 7 章 「 Configuring Server/Application State Protocol for Server Load Balancing 」	<ul style="list-style-type: none"> • Server/Application State Protocol (SASP) の概要 • SASP エージェントの設定、および CSS での SASP の有効化 • 設定した SASP エージェントとサポートされるサービスを含む SASP 情報の表示

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 8 章「Configuring Dynamic Feedback Protocol for Server Load Balancing」	<ul style="list-style-type: none"> • Dynamic Feedback Protocol (DFP) の概要 • DFP エージェントの設定。サーバ上の特定の IP アドレスと TCP ポートの組み合わせの DFP 接続を検出して、CSS の DFP マネージャを有効化するように設定します。 • サービス間での一貫した重みの範囲の維持 • 設定した DFP エージェントとサポートされるサービスを含む DFP 情報の表示
第 9 章「Configuring Owners」	<ul style="list-style-type: none"> • DNS バランスタイプ、住所、請求情報、大文字小文字の区別、DNS タイプなどを含む、所有者のアトリビュートの設定 • 所有者の削除 • 所有者情報の表示
第 10 章「Configuring Content Rules」	<ul style="list-style-type: none"> • コンテンツ ルールの概要 • コンテンツ ルール設定のクイック スタート • コンテンツ ルールの所有者への割り当て • virtual IP (VIP; 仮想 IP) アドレスの設定 • ドメイン名コンテンツ ルールの設定 • ドメイン修飾子リスト (DQL) と仮想 Web ホスティング (VWH) の設定 (クイック スタートを含む) • コンテンツ ルールへのサービスの追加。サービスの重みの設定、プライマリおよびセカンダリ ソーリー サーバの追加、およびコンテンツ ルールへの DNS 名の追加が含まれます。 • コンテンツ ルールの有効化、一時停止、および削除 • ポート、ロード バランシング アルゴリズム、DNS バランス タイプ、ホスト リスト、拡張修飾子リスト (EQL)、Uniform Resource Locator (URL)、URL 修飾子リスト (URQL)、分割パケット、負荷のしきい値、CSS ping 応答決定に含まれるサービス、TCP フロー リセット拒否、持続性、再マッピングとリダイレクション、フェールオーバーの扱い、およびアプリケーション タイプの設定 (URQL の設定ではクイック スタートが利用可) • コンテンツ ルール情報の表示、およびカウンタのクリア

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 11 章「Configuring Sticky Parameters for Content Rules」	<ul style="list-style-type: none"> • スティックの概要 • CSS でのスティッキの設定 • スティック コンテンツの高度なロード バランシング方式の指定 • SSL レイヤ 4 フォールバックの設定 • スティック サーバダウン フェールオーバーの設定 • スティック サブネット マスク、無活動タイムアウト、SSL 用のスティッキ コンテンツ、文字列の範囲、文字列操作、ASCII 変換、複数の文字列の一致、文字列の末尾文字、文字列の接頭文字、文字列処理、およびスキップ長の設定 • e コマースやその他のインターネット アプリケーション用のスティッキ パラメータの設定。ArrowPoint クッキー、ロケーションクッキー、e コマース アプリケーションの無線ユーザ、および Session Initiation Protocol (SIP) ロード バランシングの設定が含まれます。 • スティック アトリビュート、テーブル、および接続統計の表示
第 12 章「Configuring HTTP Header Load Balancing」	<ul style="list-style-type: none"> • HTTP ヘッダー ロード バランシングの概要 • HTTP ヘッダー ロード バランシングの設定のクイック スタート • ヘッダー フィールド グループの作成、ヘッダー フィールド エントリの設定、およびヘッダー フィールド グループのコンテンツ ルールへの関連付け • HTTP ヘッダー ロード バランシングの設定例 • ヘッダー フィールド グループの表示

表 6-4 Cisco Content Services Switch Content Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 13 章「Configuring Caching」	<ul style="list-style-type: none"> • キャッシングの概要 • キャッシング設定のクイック スタート • キャッシング コンテンツ ルールの設定。サービスとフェールオーバー タイプ、ロード バランシング アルゴリズム、ダブルワイルドカード キャッシング ルール、バイパス キャッシュ、および透過 キャッシュ タイプのサービスの NAT 変換の設定が含まれます。 • NAT ピアリングの設定とクイック スタート
第 14 章「Configuring Content Replication」	<ul style="list-style-type: none"> • オンデマンド コンテンツ レプリケーションの設定のクイック スタート • オンデマンド コンテンツ レプリケーションの設定。ホスト リスト、サービス タイプ、最大経過時間、コンテンツの部品、サービス上の複製オブジェクト用のディスク スペース、および FTP アクセスの設定が含まれます。 • コンテンツのステージングとレプリケーションのクイック スタート • コンテンツのステージングとレプリケーションの設定。パブリッシュとサブスクライブのサービス、FTP アクセス、およびパブリッシュ コンテンツ レプリケーションの設定が含まれます。 • コンテンツの表示

Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide

このマニュアルは、CSS のグローバル ロード バランシングの設定作業について説明しています。表 6-5 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-5 Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Configuring the CSS as a Domain Name System Server」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS の DNS 機能と Application Peering Protocol (APP) の概要 • APP の設定。最大フレーム サイズ、TCP ポート、セッション、および APP セッションでのリモート CSS ピアへの CLI コマンド(スクリプトを含む)の送信の設定が含まれます。 • APP 情報の表示 • ゾーンベース DNS 設定のクイック スタート • CSS でのゼロベース DNS の設定。DNS サーバ、バッファ カウント、DNS フォワーダ サーバ、応答側タスク カウント、ゾーン、ドメイン レコード、および kal-ap-vip クライアント / エージェントの設定が含まれます。 • コンテンツ ルールベースの DNS の設定のクイック スタート。この作業には、所有者、DNS ピアリング、およびサーバの DNS 交換ポリシーの設定と、コンテンツ ルールへの DNS 名の追加、およびルールからの削除が含まれます。 • DNS サーバとして設定した CSS に関する、ゾーン、レコード、ピアリング情報などの DNS 情報の表示
第 2 章「Configuring the DNS Sticky Feature」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS のドメイン ネーム システム (DNS) スティッキ機能の概要 • global server load balancing (GSLB; グローバル サーバ ロード バランシング) を設定した (または設定しない) DNS スティッキ、およびネットワーク プロキシミティのクイック スタート • コンテンツ ルールベースからゼロベースへの DNS 設定の変換 • DNS スティッキ パラメータの設定 • DNS スティッキ情報の表示

表 6-5 Cisco Content Services Switch Global Server Load-Balancing Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第 3 章 「Configuring a CSS as a Content Routing Agent」	<ul style="list-style-type: none"> • CRA の概要 • CRA のクイック スタート • CRA パラメータの設定 (CRA の有効化を含む)、CPU 負荷のしきい値、ドメイン レコード、および既存のクライアント ドメインの別名の設定 • CRA 統計情報の表示と消去
第 4 章 「Configuring a Client-Side Accelerator」	<ul style="list-style-type: none"> • CSA の概要と設定例 • CSA のクイック スタート • CSA パラメータの設定 (CSA 機能の有効化を含む)、ドメイン キャッシュ、DNS サーバ フォワーダ、およびドメイン アクセラレーションの設定 • CSA 情報の表示
第 5 章 「Configuring Network Proximity」	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク プロキシミティの概要、CSS 11150 シリーズでの Proximity Database (PDB; プロキシミティ データベース) の設定、および PDB から取り込んだ情報で DNS 要求を解決する権限 DNS ネーム サーバとしてのプロキシミティ ドメイン ネーム サーバ (PDNS) の設定 • PDB と PDNS 間、および PDNS とサービス間で近接情報を交換するための Application Peering Protocol-User Datagram Protocol (APP-UDP) の設定 • ドメイン レコードの設定 • PDNS とプロキシミティ ルックアップ キャッシュの有効化 • PDNS 設定の表示

Cisco Content Services Switch Redundancy Configuration Guide

このマニュアルは、CSS の冗長化設定作業について説明しています。表 6-6 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-6 Cisco Content Services Switch Redundancy Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Configuring VIP and Virtual Interface Redundancy」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS の冗長性の概要と VIP および仮想インターフェイス冗長性 • VIP と仮想インターフェイス冗長性のクイック スタート • VIP と仮想インターフェイス冗長性の設定。この作業には、回線 IP インターフェイス、仮想ルータ、冗長 VIP と仮想インターフェイス、VRID ピアリング、クリティカル サービス、クリティカル物理インターフェイスの各設定、および VIP 冗長設定の同期が含まれます（VRID ピアリングとクリティカル物理インターフェイスの設定ではクイック スタートが利用可） • VIP および仮想インターフェイス冗長性の情報の表示
第 2 章「Configuring Adaptive Session Redundancy」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS の冗長性の概要 • ASR のクイック スタート • ASR の設定、および ASR 設定の同期。ASR 設定には、Inter-Switch Communications (ISC) 冗長性サービス、コンテンツ ルール、および サービス グループが含まれます。 • ASR 情報の表示
第 3 章「Configuring Box-to-Box Redundancy」	<ul style="list-style-type: none"> • CSS の冗長性と冗長プロトコルの概要 • 冗長性設定のクイック スタート • 冗長 CSS のケーブル接続 • IP 冗長、冗長回線、冗長プロトコル、VRRP バックアップ タイマーを含む冗長性の設定 • 冗長設定の同期 • バックアップ CSS の一時的なマスター設定 • 複数の冗長アップリンク サービスの設定 • 物理リンク設定リストへのインターフェイスの追加 • ステートレス冗長フェールオーバーの設定 • 冗長設定の表示

Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide

このマニュアルは、CSS のセキュリティの設定作業について説明しています。表 6-7 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-7 Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Controlling CSS Access」	<ul style="list-style-type: none"> • 管理者のユーザ名とパスワードの変更 • ユーザ名とパスワードの作成 • CSS へのリモート ユーザ アクセスの制御（仮想認証とコンソール認証を含む） • CSS への管理アクセスの制御 • アクセス制御リスト (ACL) を介したネットワーク トラフィックの制御（概要、クイック スタート、ACL 句の設定、ACL の回線への適用、および ACL の有効化を含む） • ACL へのネットワーク修飾子リストの設定
第 2 章「Configuring the Secure Shell Daemon Protocol」	<ul style="list-style-type: none"> • SSH の有効化 • SSH アクセス、CSS 上の SSHD、および SSHD 使用時の Telnet アクセスの設定 • SSHD 設定の表示
第 3 章「Configuring the CSS as a Client of a RADIUS Server」	<ul style="list-style-type: none"> • RADIUS 設定のクイック スタート • CSS 用の RADIUS サーバの設定（認証と許可の設定を含む） • プライマリおよびセカンダリの RADIUS サーバ、タイムアウト間隔、デッドタイム間隔の設定 • RADIUS サーバ設定情報の表示

表 6-7 Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第4章「Configuring the CSS as a Client of a TACACS+ Server」	<ul style="list-style-type: none"> • TACACS+ 設定のクイック スタート • CSS 用の TACACS+ サーバ ユーザ アカウントの設定 (認証と許可の設定を含む) • グローバル TACACS+ アトリビュートの設定 (タイムアウト、暗号キー、キープアライブ周期など) • TACACS+ サーバの定義 • 特定の CSS コマンドを制御するための TACACS+ での権限付与およびアカウント管理の設定 • TACACS+ サーバ情報の表示
第5章「Configuring Firewall Load Balancing」	<ul style="list-style-type: none"> • ファイアウォール ロード バランシング (FWLB) の設定。この作業には、キープアライブのタイムアウト、IP スタティック ルート、およびファイアウォールのルートをアドバタイズするための OSPF と RIP の設定が含まれます。 • VIP および仮想インターフェイス冗長性のための FWLB の設定 • フロー サマリーとルートを含むファイアウォール情報の表示

Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide

このマニュアルは、CSS の SSL 機能と HTTP データ圧縮の設定方法を説明しています。表 6-8 に、このマニュアル内のすべての章を、記載されている内容および作業とともに示します。

表 6-8 Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide

章	内容 / 作業
第 1 章「Overview of CSS SSL」	<ul style="list-style-type: none"> • SSL 暗号化と CSS の SSL 機能 (SSL 終了、クライアント認証、バックエンド SSL、SSL 開始を含む) の概要
第 2 章「SSL Configuration Quick Starts」	<ul style="list-style-type: none"> • RSA 証明書とキーの生成およびインポートのクイック スタート • SSL 終了、バックエンド SSL、SSL 開始プロキシ リストのクイック スタート • SSL 終了、バックエンド SSL サーバ、および SSL 開始用のサービスとコンテンツルールの設定のクイック スタート
第 3 章「Configuring SSL Certificates and Keys」	<ul style="list-style-type: none"> • SSL 証明書およびキーの概要 • RSA と DSA のキー ペアを含む証明書と秘密キー、Diffie-Hellman キーパラメータ、および自己署名証明書の生成 • グローバル サイト証明書の準備 • 証明書と秘密キーのインポートとエクスポート (FTP レコードの設定を含む) および証明書とキーの CSS への転送 • 証明書と秘密キー ファイルの、名前との関連付け (インポートした証明書、生成した証明書、RSA/DSA キー ペア、および Diffie-Hellman パラメータを含む) • 証明書とキー ペアの確認 • CSS からの証明書と秘密キーの削除

表 6-8 Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第4章「Configuring SSL Termination」	<ul style="list-style-type: none"> • SSL 終了の概要 • SSL プロキシ リストの作成 • SSL プロキシ リスト用の仮想 SSL サーバの設定(VIP アドレスとポート、証明書、サーバ認証用のキーと暗号の組み合わせ、クライアント認証、HTTP ヘッダー挿入、セキュア URL リライト、セッション キャッシュのタイムアウトとハンドシェイク ネゴシエーション、SSL キュー内のデータの遅延時間、SSL TCP 接続用の Nagle アルゴリズムと TCP バッファリングを含む) • プロキシ リストの有効化と一時停止 • SSL 終了のサービスとコンテンツ ルールの設定
第5章「Configuring Back-End SSL」	<ul style="list-style-type: none"> • バックエンド SSL の概要 • SSL プロキシ リストの作成 • プロキシ リスト内のバックエンド SSL サーバの設定(VIP のアドレスとポート、サーバの IP アドレスとポート、SSL のバージョン、暗号化スイート、セッション キャッシュのタイムアウトとハンドシェイク ネゴシエーション、クライアント側とサーバ側の接続タイムアウト、SSL TCP 接続用の Nagle アルゴリズムと TCP バッファリングを含む) • プロキシ リストの有効化と一時停止 • バックエンド SSL のサービスとコンテンツ ルールの設定
第6章「Configuring SSL Initiation」	<ul style="list-style-type: none"> • SSL 開始の概要 • SSL 開始プロキシ リストの作成 • プロキシ リスト内のバックエンド SSL 開始サーバの設定(SSL 開始サーバの IP アドレスとポート、サーバの IP アドレスとポート、SSL のバージョン、暗号化スイート、セッション キャッシュのタイムアウトとハンドシェイク ネゴシエーション、クライアント側とサーバ側の接続タイムアウト、SSL TCP 接続用の Nagle アルゴリズムと TCP バッファリング、クライアント証明書とキー、サーバ認証用の CA 証明書を含む) • プロキシ リストの有効化と一時停止 • SSL 開始のサービスとコンテンツ ルールの設定 • SSL 開始のトラブルシューティング

表 6-8 Cisco Content Services Switch SSL Configuration Guide (続き)

章	内容 / 作業
第7章「Displaying SSL Configuration Information and Statistics」	<ul style="list-style-type: none">• 証明書とキーのペアの表示• SSL プロキシ設定の表示• CRL レコード設定の表示• SSL URL リライトと SSL モジュール統計情報の表示• SSL フローの表示
第8章「Examples of CSS SSL Configurations」	<ul style="list-style-type: none">• SSL モジュールによる SSL フローの処理• 1 つまたは 2 つの SSL モジュール、あるいは HTTP サーバとバックエンド SSL サーバを使った SSL 透過プロキシ設定• SSL の完全なプロキシ設定• SSL 開始設定
第9章「Configuring HTTP Compression」	<ul style="list-style-type: none">• CSS による圧縮の概要• 圧縮のみのサービスのクイック スタート• CSS での圧縮設定• 圧縮のみのサービスに対する TCP オプションの設定• 圧縮情報の表示

■ CSS マニュアルの詳細リスト



ブート プロセスのトラブル シューティング

Cisco 11500 シリーズ CSS は、電源投入時自己診断テストを実行する 3 段階のブートプロセスを通して、ハードウェアを診断しブート設定を調べます。CSS はこれらのどの段階にあっても、エラーメッセージにより問題を通知します。

- CSS 11501 では、内部のマザーボードからシャーシ内のすべてのコンポーネントがブートされ、適切に動作するかどうかチェックされる。
- CSS 11503 および CSS 11506 では、SCM からシャーシ内の各モジュールがブートされ、適切に動作するかどうかチェックされる。

この付録の主な内容は、次のとおりです。

- [ハードウェアの診断テストとエラー メッセージ](#)
- [ブート設定レコードとディスクの Offline DM 確認](#)
- [CSS 11501 のブートと確認](#)
- [CSS 11503 および CSS 11506 のブートとモジュールの確認](#)

この付録に記載されている対策を実行してもブートの問題が解決されない場合は、製品をお買い上げの弊社販売代理店に連絡してください。

各種のブート状態やステータス LED など、CSS の電源投入とブートについての詳細は、[第 1 章「ブート、ログイン、および起動」](#)を参照してください。

ハードウェアの診断テストとエラー メッセージ

Cisco CSS 11500 シリーズは、ブートプロセスの始めにハードウェア診断テストを実行します。CSS に電源が投入されると、最初に一連のメッセージが表示され（第 1 章「ブート、ログイン、および起動」参照）次にハードウェアに対して一連の電源投入時自己診断テストが行われます。

テスト中にエラーが発生した場合は、コンソールにエラーメッセージが表示され、エラー検出カウンターをカウント アップし、電源投入時自己診断テストがすべて完了するまで順次テストが続けられます。エラー メッセージは、次の形式で表示されます。

```
>>>>>>>FAILURE_START
>
>From: Slot Slot_number, CPU Cpu_number
>Level: Failure_level
>Type: Failure_type
>Major Error ID: Maj_Error_id
>Minor Error ID: Min_Error_id
>Test Ref #: Test_reference
>Test: 'Test_name'
>Details:
>
>Failure_details
>
>>>>>>>FAILURE_END
```

表 A-1 に、エラーメッセージのフィールドとその意味を示します。この情報は、個々のエラーメッセージについて販売代理店に連絡する際に役立ちます。

表 A-1 Diagnostic Monitor エラーメッセージのフィールド

フィールド	説明
<i>Slot_number</i>	エラー報告のあったスロット番号
<i>Cpu_number</i>	エラー報告のあった CPU 番号。MIPS CPU を 1 基搭載したボードの場合は 1 です。
<i>Failure_level</i>	<p>障害レベルには次の 3 種類があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボード：CSS 11501 のマザーボードまたは、CSS 11503 または CSS 11506 内の特定モジュールの障害。CSS はブートプロセスを完了しましたが、コンポーネントまたはモジュールに障害があります。また、CSS はブート ログメッセージを表示します。 • バックプレーン：EEPROM 障害は致命的な障害です。製品をお買い上げの弊社販売代理店に連絡してください。 • シャーシ：ファンに障害が発生している。ブートプロセスの完了後、ログメッセージが表示され、障害が発生したファンの情報が示されます。ファンの障害のトラブルシューティングについては、『Cisco 11500 Series Content Services Switch Hardware Installation Guide』を参照してください。

表 A-1 Diagnostic Monitor エラー メッセージのフィールド (続き)

フィールド	説明
<i>Failure_type</i>	<p>ハードウェア / 致命的、ハードウェア / 非致命的、ソフトウェア / 致命的、ソフトウェア / 非致命的の 4 種類の障害のうちの 1 つを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 致命的エラーは、CSS 11501 のコンポーネントまたは、CSS 11503 または CSS 11506 内の特定モジュールが目的の機能を実行できないことを示す。 非致命的エラーは、CSS 11501 のコンポーネントまたは、CSS 11503 または CSS 11506 内の特定モジュールのエラーであり、目的の機能は実行できるものの、できるだけ早く問題の修復が必要なことを示す。 <p>CSS 11501 で致命的または非致命的エラーが発生した場合は、弊社販売代理店に連絡してください。</p> <p>CSS 11503 または CSS 11506 で致命的または非致命的エラーが発生した場合は、次のようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> CSS がブートプロセスを完了したら、CSS の電源を切断します。 障害の発生したモジュールを装着し直します。 CSS の電源を入れます。 <p>モジュールを装着し直しても障害が解決されない場合は、弊社販売代理店に連絡してください。</p>
<i>Maj_Error_id</i>	CSS 11501 シャーシまたは、CSS 11503 または CSS 11506 の特定モジュール内の特定のサブ機能を指す参照番号を示します。
<i>Min_Error_id</i>	サブ機能内の特定の確認ステップを指す副参照番号を示します。
<i>Test_reference</i>	特定のテストに関連付けられたテスト番号を示します。

表 A-1 Diagnostic Monitor エラーメッセージのフィールド（続き）

フィールド	説明
<i>Test_name</i>	次のように、エラーを報告したテスト名を示します。たとえば、次のように表示されます。 Uart Interrupt Test PHY Reset Test
<i>Failure_details</i>	エラー情報を示します。たとえば、次のように表示されます。 PHY Reset Register failed to clear. Addr: 0x12345678 Expected: 0x0 Actual:0xf

CSS は、診断の完了後、次のメッセージに示すように Offline DM をブートします。

```
Booting OffDm @ 0xbfd70000
```

ブート設定レコードとディスクドライブの Offline DM 確認については、「[ブート設定レコードとディスクの Offline DM 確認](#)」を参照してください。

「Booting OffDM」のメッセージが表示されない場合は、CSS 11501 のコンポーネントまたは SCM に障害が発生している可能性があります。そのような障害がある場合は、ソフトウェアのダウンロードを開始できなくなります。

この問題が CSS 11501 に発生した場合は、弊社販売代理店にお問い合わせください。

この問題が CSS 11503 または CSS 11506 に発生した場合は、次のようにします。

1. CSS の電源を切断します。
2. SCM を装着し直します。
3. CSS の電源を入れます。

モジュールを装着し直しても障害が解決されない場合は、弊社販売代理店に連絡してください。

ブート設定レコードとディスクの Offline DM 確認

Offline DM の確認中に CSS は設定レコードを調べてディスクを初期化します。設定レコードにエラーが検出されると、エラーメッセージが表示され、問題のある設定パラメータの情報が示されます。問題には、IP およびサブネット アドレスの設定誤りやプライマリまたはセカンダリのブート レコードの欠落が関係していることがあります。CSS は、問題が解決されるまでブート プロセスを再開しません。

エラーメッセージが発生した場合は、次の操作を行います。

1. **Offline DM** メニューを開始して現在の設定レコードを表示します。**Offline DM** メニューの使用方法については、『*Cisco Content Services Switch Administration Guide*』を参照してください。
2. CSS ブートレコードの設定を修正して再設定します。
3. CSS をリブートします。



(注) MAC アドレス エラーが発生した場合は、弊社販売代理店に連絡してください。

CSS は、設定レコードが有効なことを確認すると、スロット 0 のディスクを初期化します。ディスクを初期化できなかった場合は、失敗したことを通知します。初期化の問題が発生した場合は、次の手順を実行します。

1. **Offline DM** メニューを開始します。
2. **Disk Options** メニューでオプション 3 を選択します。
3. スロット 0 のディスクに対してディスク検査を実行し、必要に応じてディスクをフォーマットし直します。
4. CSS をリブートします。障害が解決しない場合は、弊社販売代理店に連絡してください。

CSS 11501 のブートと確認

CSS 11501 は Offline DM ブートプロセスを完了すると、ログイン バナーを表示して Online Diagnostic Monitor (OnDM) を起動します。OnDM の間、CSS 11501 は各コンポーネントにソフトウェアをダウンロードして、そのコンポーネントが機能していることを確認します。

モジュールに障害がある場合、CSS 11501 は モジュールのブートを 3 回試みます。ブートに失敗した場合は、CSS は次のログ メッセージを生成して boot.log ファイルに保存します。

```
CHMGR: Slot slot/subslot had diagnostic failures - NOT STARTING UP
```

この問題が CSS 11501 に発生した場合は、弊社販売代理店にお問い合わせください。

CSS 11503 および CSS 11506 のブートとモジュールの確認

CSS 11503 または CSS 11506 は、Offline DM ブート プロセスを完了すると、メインバナーを表示して Online Diagnostic Monitor (OnDM) を起動します。OnDM の間、SCM は各モジュールにソフトウェアをダウンロードしてそのモジュールをブートします。SCM はモジュールが機能していることを確認します。

モジュールに障害がある場合、SCM はモジュールのブートを 3 回試みます。SCM がモジュールのブートに失敗すると、CSS は次のログメッセージを生成して boot.log ファイルに保存します。

```
CHMGR: Slot slot/subslot had diagnostic failures - NOT STARTING UP
```

SCM はスロットを無効にし、スロットは認識されなくなります。show chassis コマンドを使用しても、スロットは表示されません。モジュールに障害が発生した場合は、次の手順を実行します。

1. CSS の電源を切断します。
2. モジュールを装着し直します。
3. CSS の電源を入れます。

モジュールを装着し直しても障害が解決されない場合は、モジュールを交換します。

CSS の通常動作時の、モジュールのトラブルシューティングについての詳細は、『Cisco 11500 Series Content Services Switch Hardware Installation Guide』を参照してください。



INDEX

- C**
- CiscoView Device Manager (CVDM)
 - インストール 5-1
 - 削除 5-8
 - 有効化 5-9
 - CLI
 - User のコマンドと SuperUser のコマンド 2-6
 - イーサネット管理ポートの使用法 2-10
 - エキスパート モード 2-19
 - 表記法 xvi
 - Content Services Switch
 - シャットダウン 1-27
 - リブート 1-26
 - ログイン 1-11
 - CSS。コンテンツ サービス スイッチを参照
 - CSS の IP アドレスの入力 5-11
 - CSS のシャットダウン 1-27
 - CSS のリブート 1-26
- D**
- DNS
 - CSS での解決、設定 3-2
 - CSS の設定 6-1
 - CSS への設定 3-1
 - CSS 用のセカンダリ サーバ、設定 3-3
 - CSS 用のプライマリ サーバ、設定 3-2
 - サフィックスの指定 3-3
- I**
- ICMP リダイレクト、管理ポートでの廃棄 2-15
 - IP アドレス
 - イーサネット管理ポート、設定 2-12
 - 管理ポート 2-10
- L**
- LED
 - CSS 11501 モジュールのブート パターン 1-9
 - CSS 11503 および 11506 モジュールのブート パターン 1-9
- O**
- Offline Diagnostic Monitor メニュー
 - パスワード保護の設定 1-7
- P**
- PAT 6-34

- R
- running-config の例
 初期設定 2-4
- S
- SNTP
 SNTP 情報の表示 2-30
 概要 2-27
 サーバ、設定 2-28
- W
- WebNS Device Management ユーザ インターフェイス
 CSS の IP アドレスの入力 5-11
 アクセス 5-11
 状態の確認 5-9
 有効化と無効化 5-9
- WebNS Device Management ユーザ インターフェイス
 の無効化 5-9
- WebNS Device Management ユーザ インターフェイス
 の有効化 5-9
- WebNS Device Management ユーザ インターフェイス
 へのアクセス 5-11
- い
- イーサネット管理ポート
 ICMP リダイレクト、廃棄 2-15
 IP アドレスとサブネット マスク、設定 2-12
 概要 2-10
 遮断 2-16
 スタティック ルート、定義 2-13
- 設定 1-4
- インストール
 CiscoView Device Manager (CVDM) 5-1
- お
- 欧州形式の日付、設定 2-19
- か
- 管理作業 6-2
 管理者のユーザ名
 変更 2-5
 管理パスワード
 変更 2-5
 管理ポート、IP アドレスとサブネット マスクの割り
 当て 2-12
 管理ポートのデフォルト ゲートウェイ 2-14
- く
- クイック スタート
 CSS の初期設定 1-2, 2-2
- クッキー
 拡張 バランス 方式 4-3
 クライアント 4-2
- け
- 警告
 記号の概要 xvi
- ゲートウェイ、管理ポートのデフォルト設定
 2-14

- こ
- コンテンツ サービス スイッチ
- サブネット マスクの割り当て 2-10, 2-12
 - 制御、リモート アクセス 2-19
 - ホスト名、設定 2-31
- さ
- 作業の一覧 6-2
- 削除
- CiscoView Device Manager (CVDM) 5-8
 - ユーザ名 2-8
- し
- 時間帯、CSS への設定 2-19
- 時刻、CSS への設定 2-19
- す
- スタティック IP ルート、設定 2-17
- スタティック ルート、設定 2-13
- スティック コンテンツ
- 拡張ロード バランシング方式の指定 4-3
- せ
- 設定
- SNTP サーバの運用 2-27
 - イーサネット管理ポート 1-4
 - 時刻、日付、および時間帯 2-19
 - 透過キャッシュ 1-14, 1-22
 - プロキシ キャッシュ 1-20
 - ユーザ名とパスワード 2-6
 - レイヤ 3 ロード バランシング 1-15
 - レイヤ 5 ロード バランシング 1-17
 - 設定作業 6-2
 - 設定スクリプト 1-2, 1-12
 - 設定のクイック スタート
 - CSS の初期設定 1-2, 2-2
- そ
- ソフトウェア
- バージョン 1-2, 1-8
 - バージョン番号 1-2, 1-8
 - ビルド番号 1-2, 1-8
- た
- 対象読者 x
- ち
- 注意
- イーサネット管理ポートのサブネット アドレス 2-12
 - 記号の概要 xvi
 - 既存のユーザ名、削除 2-9
 - ユーザ名やパスワードの作成と変更 2-6
- て
- ディレクトリへのアクセス権 (ユーザ名) 2-7
 - デフォルト IP ルート、設定 2-17

- デフォルトのユーザ名とパスワードの変更 1-6
- 電子商取引
 - スティッキの使用 4-2

- と
- 透過キャッシュ、設定 1-14, 1-22

- な
- 夏時間 (DST)、設定 2-22

- は
- ハードウェアの初期化 1-8
- パスワード
 - 管理パスワード、変更 2-5
 - 管理、変更 2-5
 - ユーザ、設定 2-6
 - ユーザパスワード、変更 2-9
- パスワードによる OffDM メニューの保護 1-7

- ひ
- 日付、設定 2-19
- 表示
 - SNTP 設定 2-30
 - ユーザ名 2-9

- ふ
- ブート プロセス
 - ハードウェアの初期化 1-8
- ライセンスキーの入力 1-3
- プロキシ キャッシュ、設定 1-20

- へ
- 変更
 - 管理者のユーザ名 2-5
 - 管理パスワード 2-5
 - ユーザのディレクトリへのアクセス権 2-7
 - ユーザのパスワード 2-9

- ほ
- ポート アドレス変換。PAT を参照

- ま
- マニュアル
 - 関連 xii
 - 記号と表記法 xvi
 - 章内容 xi
 - セット xii
 - 対象読者 x

- ゆ
- 有効化
 - CiscoView Device Manager (CVDM) 5-9
- ユーザのパスワード
 - 設定 2-6
 - 変更 2-9
- ユーザ名
 - 削除 2-8

設定 2-6
ディレクトリへのアクセス権 2-7
表示 2-8

ら

ライセンスキー、入力 1-3

れ

レイヤ3ロードバランシング、設定 1-15
レイヤ5ロードバランシング、設定 1-17

ろ

ログイン

CSS への 1-11

わ

割り当て

管理ポートのIPアドレス 2-12
管理ポートのサブネットマスク 2-10